

秩父市
障がい福祉に関する
アンケート調査報告書

平成 29 年 10 月

秩父市

目次

第1章 調査の概要

1 調査の目的.....	3
2 調査設計.....	3
(1) 調査対象者.....	3
(2) 調査方法.....	3
(3) 調査期間.....	3
(4) 調査内容.....	3
3 回収状況.....	3
4 当報告書の見方.....	4

第2章 調査結果

1 回答者の属性.....	7
(1) 調査票の記入者.....	7
(2) 年齢.....	7
(3) 性別.....	8
(4) 一緒に暮らしている人.....	8
(5) 日常生活について.....	9
(6) 介助してくれる方.....	12
(7) 介助してくれる方の年齢・性別・健康状態.....	13
2 障がいの状況について.....	14
3 住まいや暮らしについて.....	19
4 日中活動や就労について.....	21
5 障害福祉サービス等の利用について.....	27
6 相談相手について.....	32
7 権利擁護について.....	34
8 災害時の避難等について.....	37

第3章 付属資料.....43

○この報告書では、「しょうがい」や「しょうがいしゃ」の用語について、法律上の名称等を除き、「障がい」、(総称として)「障がいのある人」または「障がい者」という表記・表現で統一しています。



第1章 調査の概要



1 調査の目的

秩父市では、障がい福祉サービスを計画的に進めていくため、障害者基本法に基づく「障害者計画」と障害者総合支援法に基づく「第5期障害福祉計画」・児童福祉法に基づく「第1期障害児福祉計画」を一体的に策定することとしました。

このアンケート調査は、当該計画の策定にあたり、障がいのある人（※障がい児を含む）の生活実態や障がい福祉サービスに対する評価、今後の施策ニーズ等を把握し、検討の基礎資料の一つとすることを目的に実施したものです。

2 調査設計

(1) 調査対象者

市内在住の障害者手帳所持者及び指定難病等医療受給者（難病患者）から、無作為に以下の人数を抽出しました。

①身体障害者手帳所持者	698人	
②療育手帳所持者	159人	
③精神障害者保健福祉手帳所持者	97人	
④指定難病等医療受給者	46人	合計1,000人

(2) 調査方法

郵送による配付・回収

(3) 調査期間

平成29年6月16日～6月27日まで

(4) 調査内容

- | | |
|-------------------|--------------|
| ①年齢・性別・ご家族などについて | ⑥相談相手について |
| ②障がいの状況について | ⑦権利擁護について |
| ③住まいや暮らしについて | ⑧災害時の避難等について |
| ④日中活動や就労について | ⑨自由意見 |
| ⑤障害福祉サービス等の利用について | |

3 回収状況

	配付数	有効回収数	回収率
①身体障がい者	698	416	59.6%
②知的障がい者	159	92	57.9%
③精神障がい者	97	51	52.6%
④難病患者	46	22	47.8%
全体	1,000	581	58.1%

4 当報告書の見方

- ① 回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。それぞれの質問の回答者数を「n」と表記しています。
- ② 回答割合（%）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表記しています。したがって、回答の合計が必ずしも100%にならない場合（99.9%、100.1%など）があります。
- ③ 回答者が2つ以上回答することのできる質問（複数回答形式）については、%の合計は通常、100%を超えています。
- ④ 結果表の各欄で、上段の整数は回答実数（人）を、下段の小数第1位までの数値はその百分率（%）を、それぞれ表しています。
- ⑤ アンケート選択肢の語句が長い場合等、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがあります。
- ⑥ 当調査の知的、精神障がい者・難病患者については、有効回収数が100票に満たず百分率（%）を用いて分析を行うことが統計的に正しくないため、分析は実数を用いて行っています。ただし、比較を行うための便宜的な参考値として、表、グラフ中では百分率を標示しています。



第2章 調査結果



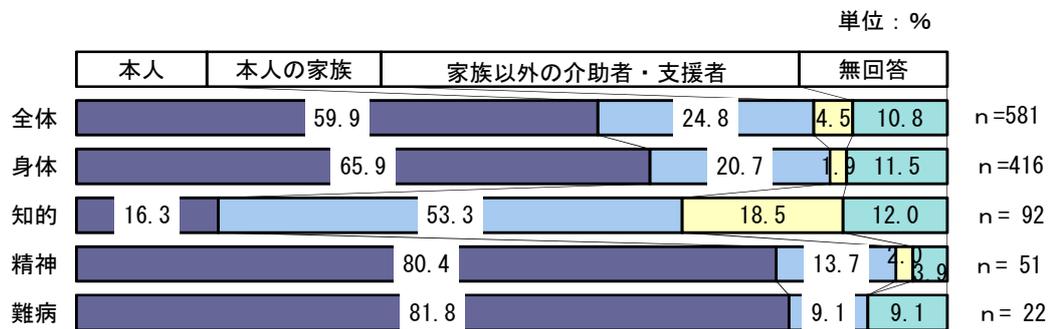
1 回答者の属性

(1) 調査票の記入者

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」と呼びますので、ご本人(この調査票の対象者：障がいのある方)の状況などについて、お答えください。

○全体結果と身体、精神障がい者、難病患者では「本人」という回答が最も多く、次いで「本人の家族」が多くなっています。(難病患者では「無回答」も同数2位。)
知的障がい者では「本人の家族」が最も多く、過半数を占めています。



(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(平成29年6月1日現在)

○身体障がい者では、75歳以上が44%で最も多く、また、65歳以上で67.6%を占めています。

知的障がい者では、18~29歳と40歳代が最も多くなっています。

精神障がい者では、40歳代が最も多く、次いで50歳代が多くなっています。

難病患者では、65~74歳が最も多く、次いで40歳代が多くなっています。

	合計	0~17歳	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~74歳	75歳以上	無回答
全体	581	28	29	22	58	56	47	111	193	37
	100.0	4.8	5.0	3.8	10.0	9.6	8.1	19.1	33.2	6.4
身体	416	9	5	4	17	34	35	98	183	31
	100.0	2.2	1.2	1.0	4.1	8.2	8.4	23.6	44.0	7.5
知的	92	17	19	13	19	12	4	2	4	2
	100.0	18.5	20.7	14.1	20.7	13.0	4.3	2.2	4.3	2.2
精神	51	0	5	5	17	10	4	5	5	0
	100.0	0.0	9.8	9.8	33.3	19.6	7.8	9.8	9.8	0.0
難病	22	2	0	0	5	0	4	6	1	4
	100.0	9.1	0.0	0.0	22.7	0.0	18.2	27.3	4.5	18.2

(3) 性別

問3 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

〇全体では、男性が48.7%、女性が48.2%で、ほぼ同数となっています。
障がい別では、難病患者で女性が男性を大きく上回っているのが特徴的です。

	合計	男性	女性	無回答
全体	581	283	280	18
	100.0	48.7	48.2	3.1
身体	416	204	197	15
	100.0	49.0	47.4	3.6
知的	92	48	43	1
	100.0	52.2	46.7	1.1
精神	51	25	26	0
	100.0	49.0	51.0	0.0
難病	22	6	14	2
	100.0	27.3	63.6	9.1

(4) 一緒に暮らしている人

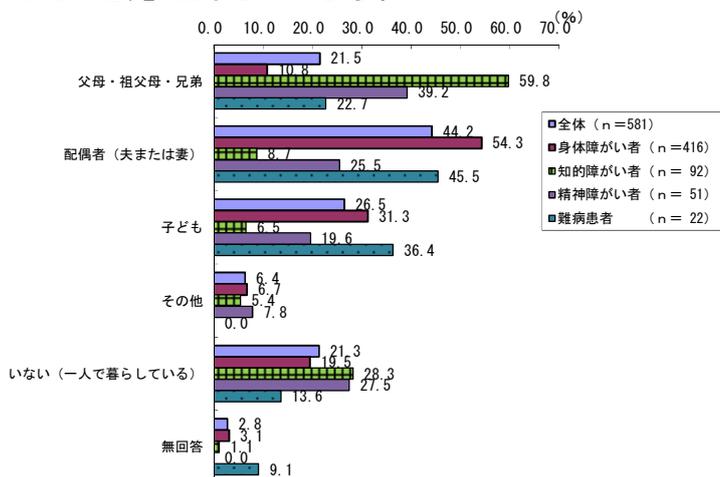
問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに〇)
※グループホーム、福祉施設等を利用されている方は、「5」と回答してください。

〇全体では、「配偶者(夫または妻)」(44.2%)という回答が最も多く、次いで「子ども」(26.5%)が多くなっています。

障がい種別でみると、身体障がい者では「配偶者」が過半数に達して最も多く、知的障がい者では「父母・祖父母・兄弟」が最も多くなっています。

精神障がい者では「父母・祖父母・兄弟」が、難病患者では「配偶者」が、最も多くなっています。

2番目に多いのは、身体障がい者と難病患者では「子ども」、知的、精神障がい者では「いない(一人で暮らしている)」となっています。

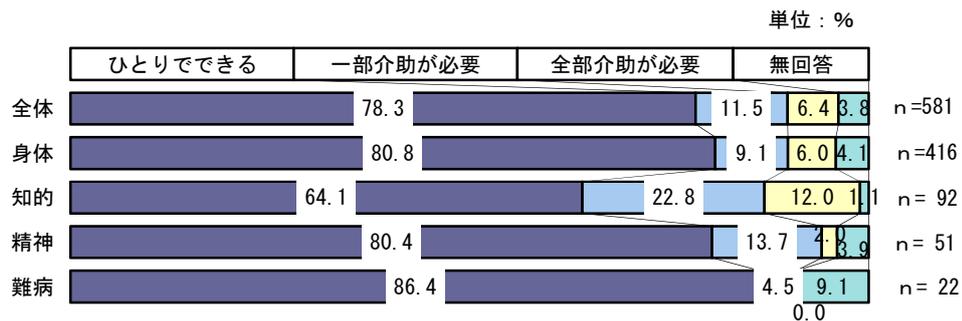


(5) 日常生活について

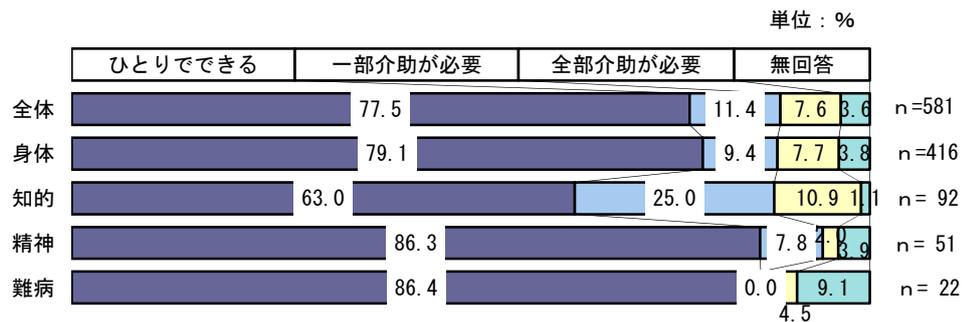
問5 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つずつ)

○全般的に「ひとりでできる」が最も多い項目が多いですが、「ひとりでできる」の割合は知的障がい者で比較的少なく、⑦外出では「一部介助が必要」が、⑨お金の管理と⑩薬の管理では「全部介助が必要」が、それぞれ最も多い回答となっています。

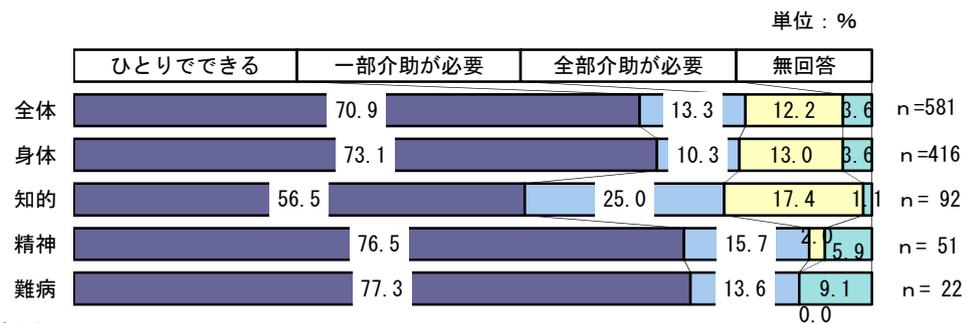
① 食事



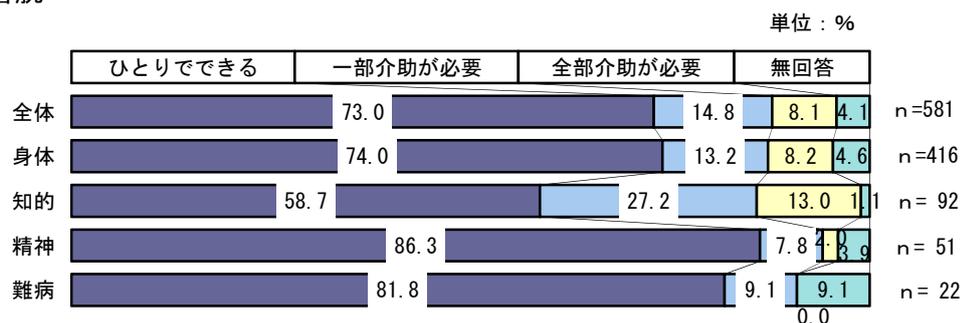
② トイレ



③ 入浴

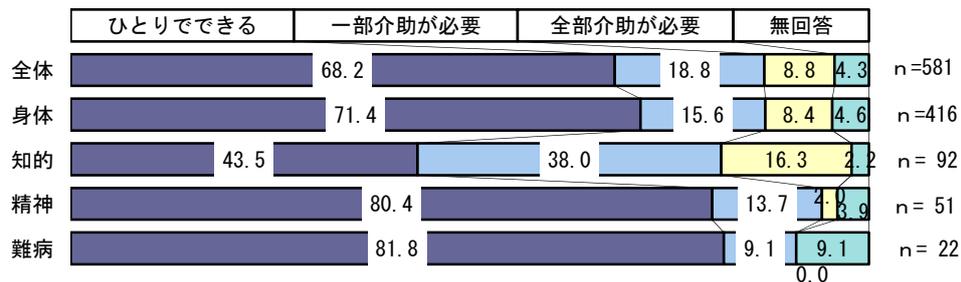


④ 衣服の着脱



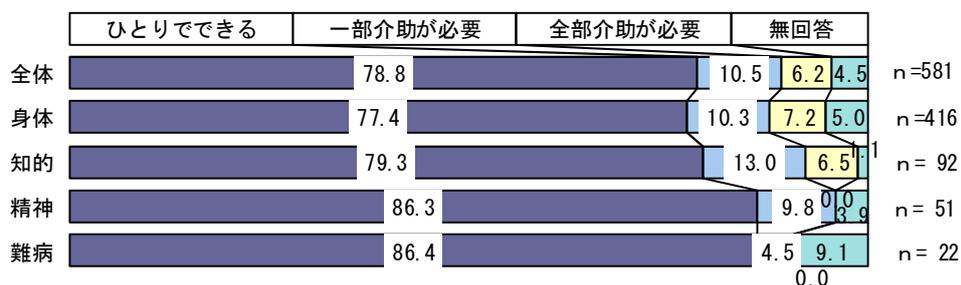
⑤ 身だしなみ

単位：%



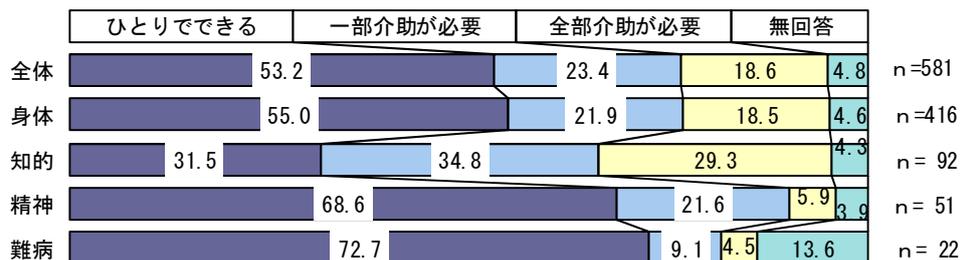
⑥ 家の中の移動

単位：%



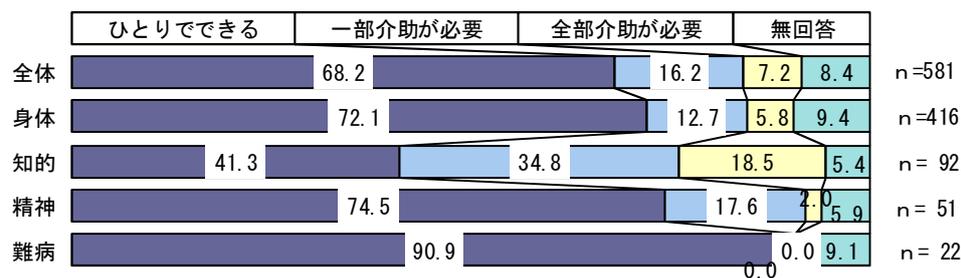
⑦ 外出

単位：%

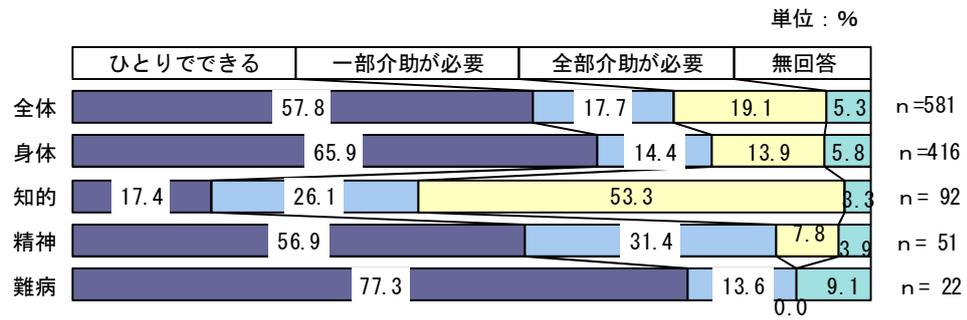


⑧ 家族以外の人との意思疎通

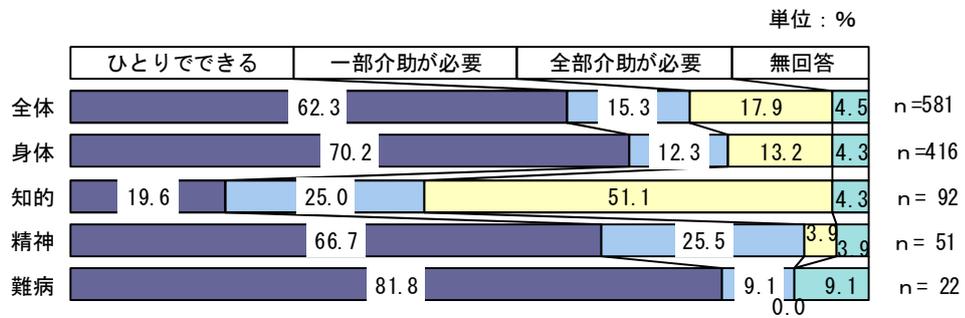
単位：%



⑨ お金の管理



⑩ 薬の管理

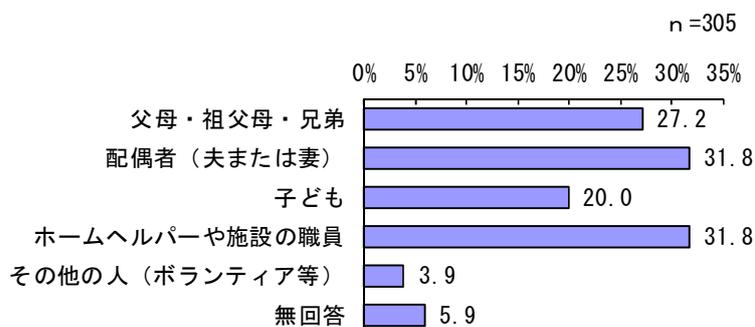


(6) 主な介助者

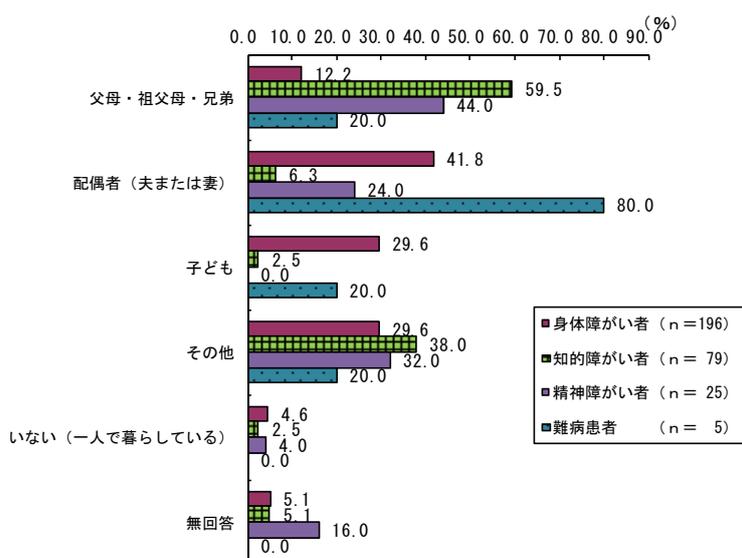
(問5で、1つでも「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方へ)
 問6 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか (あてはまるものすべてに○)

○全体では、「配偶者(夫または妻)」と「ホームヘルパーや施設の職員」(ともに31.8%)という回答が最も多く、「父母・祖父母・兄弟」(27.2%)が続いています。
 身体障がい者では「配偶者」が最も多く、次いで「子ども」と「その他」が多くなっています。
 知的障がい者では「父母・祖父母・兄弟」が最も多く、次いで「その他」が多くなっています。
 精神障がい者では「父母・祖父母・兄弟」が最も多く、「その他」、「配偶者」が続いています。
 難病患者では「配偶者」が最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟」と「その他」が多くなっています。

〈全体〉



〈障がい種別〉



(7) 介助してくれる方の年齢・性別・健康状態

問7 (問6で「1」～「3」を答えた方へ) あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

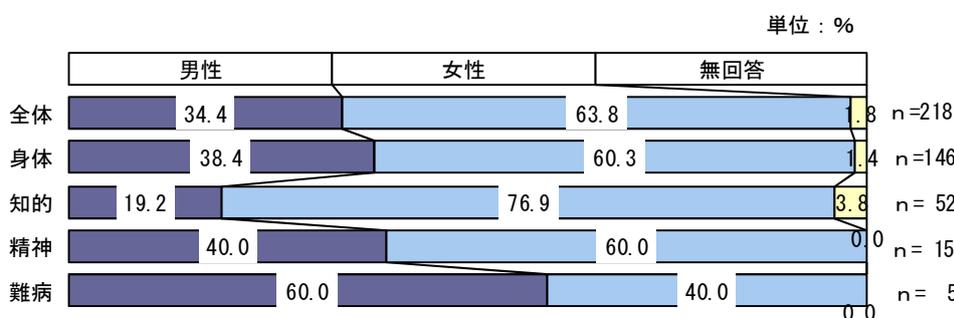
○主な介助者の年齢については、身体、精神障がい者では60歳代、知的障がい者では40歳代、難病患者では70歳代が最も多くを占めています。

性別では、難病患者以外では男性よりも女性の方が多いですが、難病患者では男性の方が多くなっています。健康状態では、全体で「ふつう」が半数強となっています。

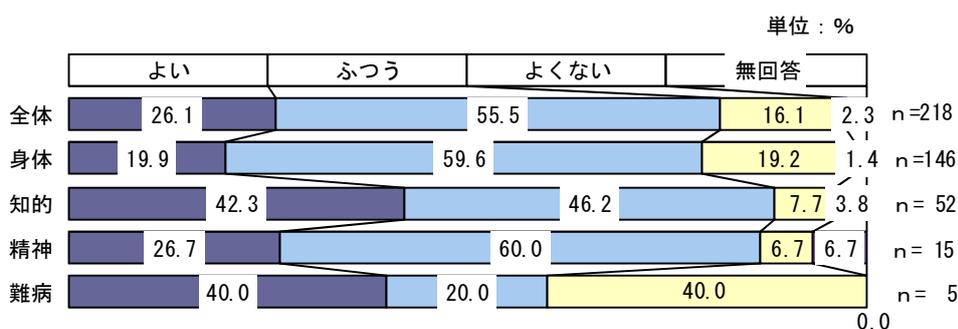
【年齢（平成29年6月1日現在）】

	合計	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	非該当
全体	218	4	14	31	45	58	39	19	8	363
	100.0	1.8	6.4	14.2	20.6	26.6	17.9	8.7	3.7	
身体	146	3	5	16	29	41	32	16	4	270
	100.0	2.1	3.4	11.0	19.9	28.1	21.9	11.0	2.7	
知的	52	0	8	14	12	9	3	2	4	40
	100.0	0.0	15.4	26.9	23.1	17.3	5.8	3.8	7.7	
精神	15	1	0	1	3	7	2	1	0	36
	100.0	6.7	0.0	6.7	20.0	46.7	13.3	6.7	0.0	
難病	5	0	1	0	1	1	2	0	0	17
	100.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	

【性別】



【健康状態】



2 障がいの状況について

問8 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

○全体と身体障がい者では、「1級」という回答が最も多く、身体障がい者では32.2%となっています。

身体障がい以外の障がい種では、「持っていない」が最も多くなっています。

	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	持っていない	無回答
全体	581 100.0	145 25.0	66 11.4	84 14.5	86 14.8	33 5.7	22 3.8	106 18.2	39 6.7
身体	416 100.0	134 32.2	49 11.8	75 18.0	85 20.4	31 7.5	21 5.0	8 1.9	13 3.1
知的	92 100.0	8 8.7	5 5.4	2 2.2	0 0.0	1 1.1	1 1.1	56 60.9	19 20.7
精神	51 100.0	0 0.0	12 23.5	7 13.7	1 2.0	0 0.0	0 0.0	24 47.1	7 13.7
難病	22 100.0	3 13.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0	18 81.8	0 0.0

問9 (問8で「1」～「6」を答えた方へ) お持ちの身体障害者手帳の、主たる障害をお答えください。(○は1つだけ)

○全体と身体障がい者では「肢体不自由(下肢)」と「内部障害」が多くなっています。

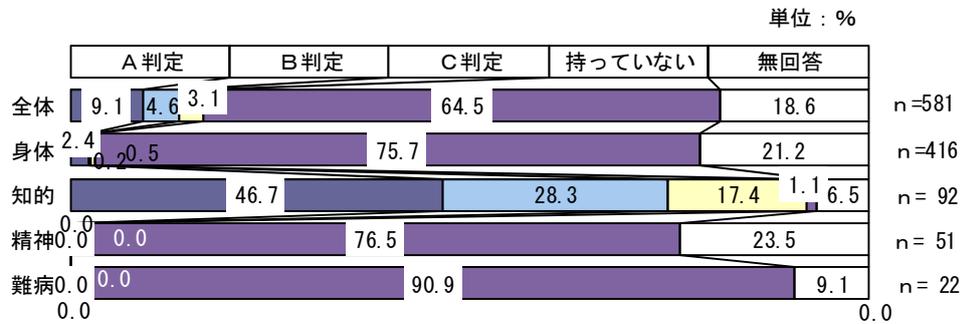
知的障がい者では「肢体不自由(下肢)」が、精神障がい者では「内部障害」が、それぞれ多くなっています。

	合計	視覚障害	聴覚障害	音声・言語・そ しゃく機能障害	肢体不自由(上 肢)	肢体不自由(下 肢)	肢体不自由(体 幹)	内部障害	無回答
全体	436 100.0	22 5.0	27 6.2	9 2.1	40 9.2	136 31.2	29 6.7	139 31.9	34 7.8
身体	395 100.0	21 5.3	27 6.8	5 1.3	40 10.1	129 32.7	25 6.3	120 30.4	28 7.1
知的	17 100.0	0 0.0	0 0.0	4 23.5	0 0.0	6 35.3	2 11.8	3 17.6	2 11.8
精神	20 100.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	14 70.0	4 20.0
難病	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0

問10 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

○知的障がい者では「A判定」が最も多く、次いで「B判定」、「C判定」の順となっています。

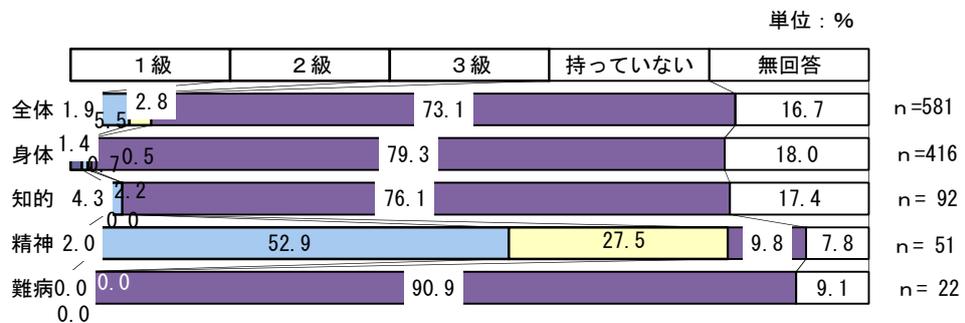
全体と知的障がい者以外の障がい種では、「持っていない」が最も多くなっています。



問11 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

○精神障がい者では、「2級」が過半数で最も多く、「3級」、「持っていない」、「無回答」、「1級」の順となっています。

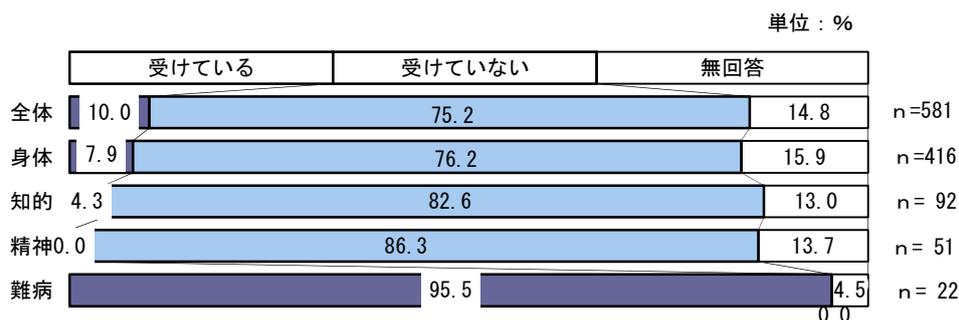
全体と精神障がい者以外の障がい種では、「持っていない」が最も多くなっています。



問12 あなたは指定難病の認定を受けていますか。(○は1つだけ) ※「指定難病」とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの、治療法が確立していない疾病やその他の特殊な疾病をいいます。

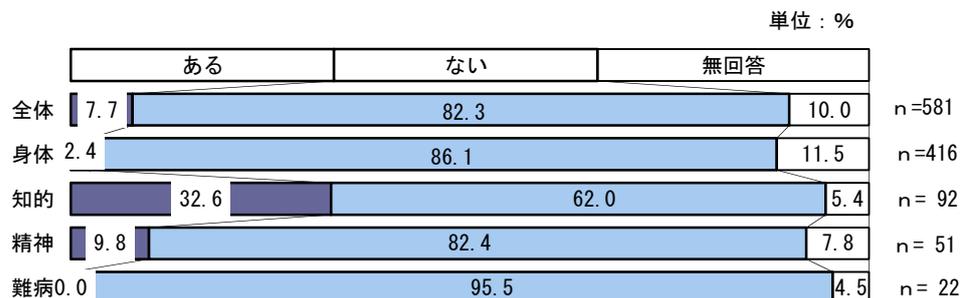
○難病患者では、「無回答」の1人(4.5%)を除いて全員が「受けている」と回答しています。

全体と身体、知的、精神障がい者では、「受けていない」が多い回答となっています。



問13 あなたは、発達障がいとして診断されたことはありますか。(○は1つだけ) ※発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなどをいいます。

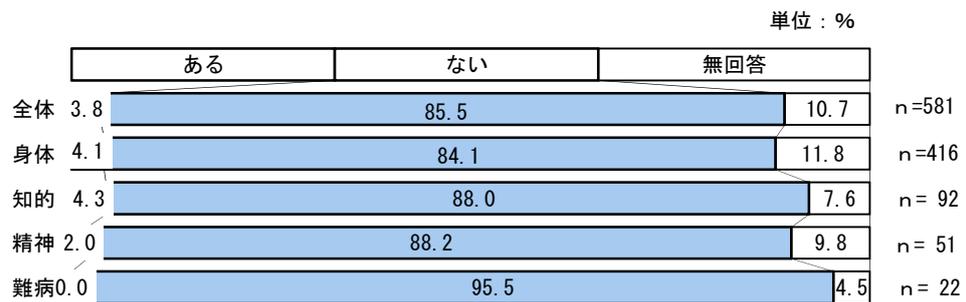
○知的障がい者と精神障がい者で、「ある(発達障がいの診断を受けた)」という回答が比較的多く、順に92人中30人(32.6%)、51人中5人(9.8%)となっています。



問14 あなたは、高次脳機能障がいとして診断されたことはありますか。(○は1つだけ)

※高次脳機能障がいとは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受け、その後遺症等として生じた記憶障がい、注意障がい、社会的行動障がいなどの認知障がい等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

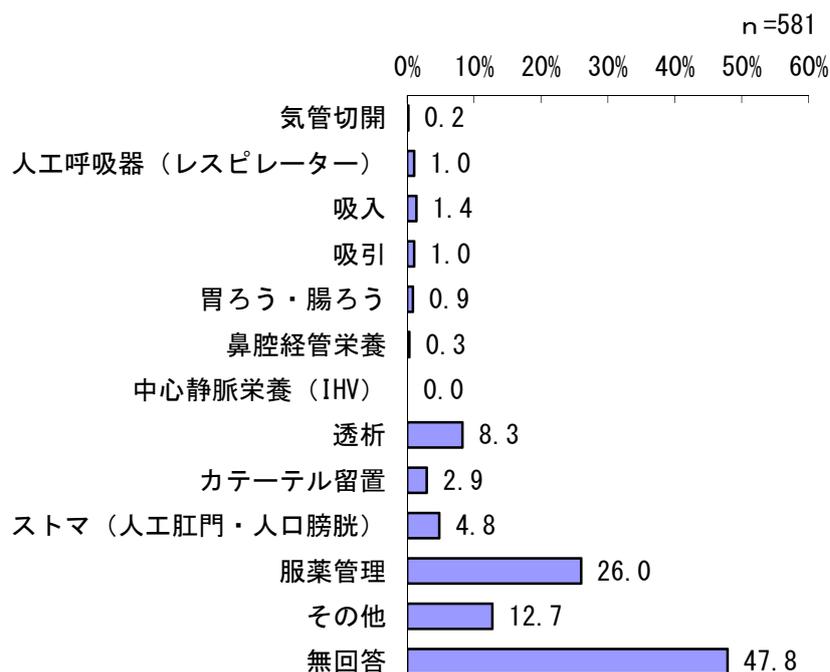
○「ある(高次脳機能障がいの診断を受けた)」はどの属性でも少ないですが、身体障がい者(4.1%)、知的障がい者(92人中4人〔4.3%])で比較的多くなっています。



問15 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

○全体では、「無回答」(47.8%)が最も多く、次いで「服薬管理」(26.0%)が多く、「その他」(12.7%)、「透析」(8.3%)が続いています。

障がい種別でみると、難病患者で「服薬管理」が最も多くなっています。



	合計	気管切開	人工呼吸器 (レスピレーター)	吸入	吸引	胃ろう・ 腸ろう	鼻腔経管 栄養	中心静脈 栄養 (IHV)	透析	カテーテ ル留置	ストマ (人工肛 門・人口 膀胱)	服薬管理	その他	無回答
全体	581 100.0	1 0.2	6 1.0	8 1.4	6 1.0	5 0.9	2 0.3	0 0.0	48 8.3	17 2.9	28 4.8	151 26.0	74 12.7	278 47.8
身体	416 100.0	1 0.2	5 1.2	6 1.4	5 1.2	4 1.0	2 0.5	0 0.0	47 11.3	15 3.6	27 6.5	95 22.8	54 13.0	190 45.7
知的	92 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1	1 1.1	1 1.1	0 0.0	0 0.0	1 1.1	1 1.1	1 1.1	31 33.7	2 2.2	56 60.9
精神	51 100.0	0 0.0	1 2.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 29.4	12 23.5	24 47.1
難病	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0	10 45.5	6 27.3	8 36.4

○身体、知的、精神障がい者では、「無回答」が最も多くなっています。

3 住まいや暮らしについて

問16 あなたは現在、どのように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

〇全体及び身体、知的、精神障がい者・難病患者に共通して、「家族と暮らしている」という回答が最も多くなっています。

次いで多い回答は、身体、精神障がい者と難病患者では「一人で暮らしている」、知的障がい者では「グループホームで暮らしている」となっています。

	合計	一人で暮らしている	家族と暮らしている	グループホームで暮らしている	福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている	病院に入院している	その他	無回答
全体	581	67	432	26	33	13	1	9
	100.0	11.5	74.4	4.5	5.7	2.2	0.2	1.5
身体	416	50	318	8	23	11	1	5
	100.0	12.0	76.4	1.9	5.5	2.6	0.2	1.2
知的	92	2	62	17	8	1	0	2
	100.0	2.2	67.4	18.5	8.7	1.1	0.0	2.2
精神	51	11	35	1	2	1	0	1
	100.0	21.6	68.6	2.0	3.9	2.0	0.0	2.0
難病	22	4	17	0	0	0	0	1
	100.0	18.2	77.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5

【問17と問18は、問16で「4(施設)」または「5(病院)」を選択した場合にお答えください。】

問17 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。(〇は1つだけ)

〇全体と身体障がい者では、「今のまま地域で生活したい」という回答が最も多く、次いで「家族と一緒に地域で生活したい」が多くなっています。知的障がい者では、「今のまま地域で生活したい」が最も多く、次いで「グループホームなどを利用して地域で生活したい」が多くなっています。精神障がい者では、「特に地域で生活したいと思わない」が最も多くなっています。

	合計	今のまま地域で生活したい	グループホームなどを利用して地域で生活したい	家族と一緒に地域で生活したい	地域の一般の住宅でひとり暮らしをしたい	特に地域で生活したいと思わない	その他	無回答
全体	46	19	5	7	1	5	4	5
	100.0	41.3	10.9	15.2	2.2	10.9	8.7	10.9
身体	34	16	3	6	1	2	2	4
	100.0	47.1	8.8	17.6	2.9	5.9	5.9	11.8
知的	9	3	2	1	0	1	1	1
	100.0	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1
精神	3	0	0	0	0	2	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
難病	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問18 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○全体と身体障がい者では、「経済的な負担の軽減」という回答が最も多く、次いで「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」が多く、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」、「障がいに適した住居の確保」が続いています。

知的障がい者では、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」と「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が最も多くなっています。

精神障がい者では、「障がいに適した住居の確保」と「経済的な負担の軽減」を、3人全員が回答しています。

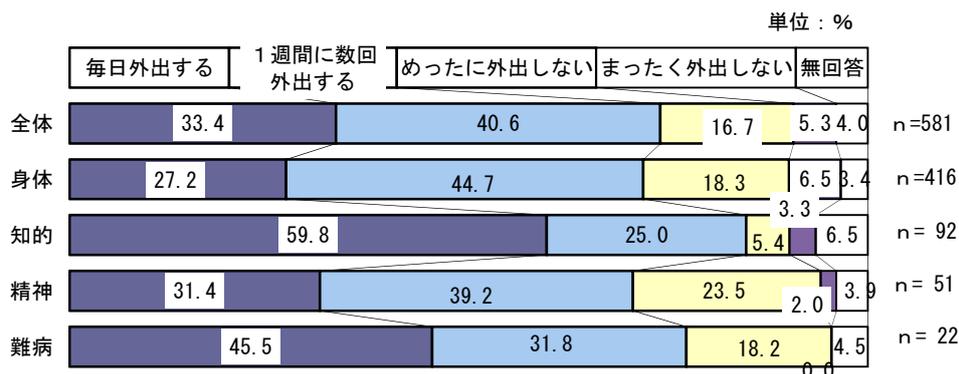
	合計	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	障がいに適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	その他	無回答
全体	46 100.0	18 39.1	15 32.6	16 34.8	8 17.4	20 43.5	11 23.9	7 15.2	3 6.5	7 15.2
身体	34 100.0	13 38.2	9 26.5	10 29.4	6 17.6	15 44.1	7 20.6	3 8.8	2 5.9	6 17.6
知的	9 100.0	4 44.4	3 33.3	4 44.4	2 22.2	2 22.2	2 22.2	2 22.2	1 11.1	1 11.1
精神	3 100.0	1 33.3	3 100.0	2 66.7	0 0.0	3 100.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0	0 0.0

4 日中活動や就労について

問19 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

○知的障がい者と難病患者では、「毎日外出する」という回答が最も多く、次いで「1週間に数回外出する」が多くなっています。

全体と身体、精神障がい者では、反対に「1週間に数回外出する」が最も多く、次いで「毎日外出する」が多くなっています。



【問20～問22は、問19で「4(まったく外出しない)」以外を選択した場合にお答えください。】

問20 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

○全体と身体、精神障がい者、難病患者では「ひとりで外出する」が最も多く、知的障がい者では「父母・祖父母・兄弟」が最も多く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」が多くなっています。

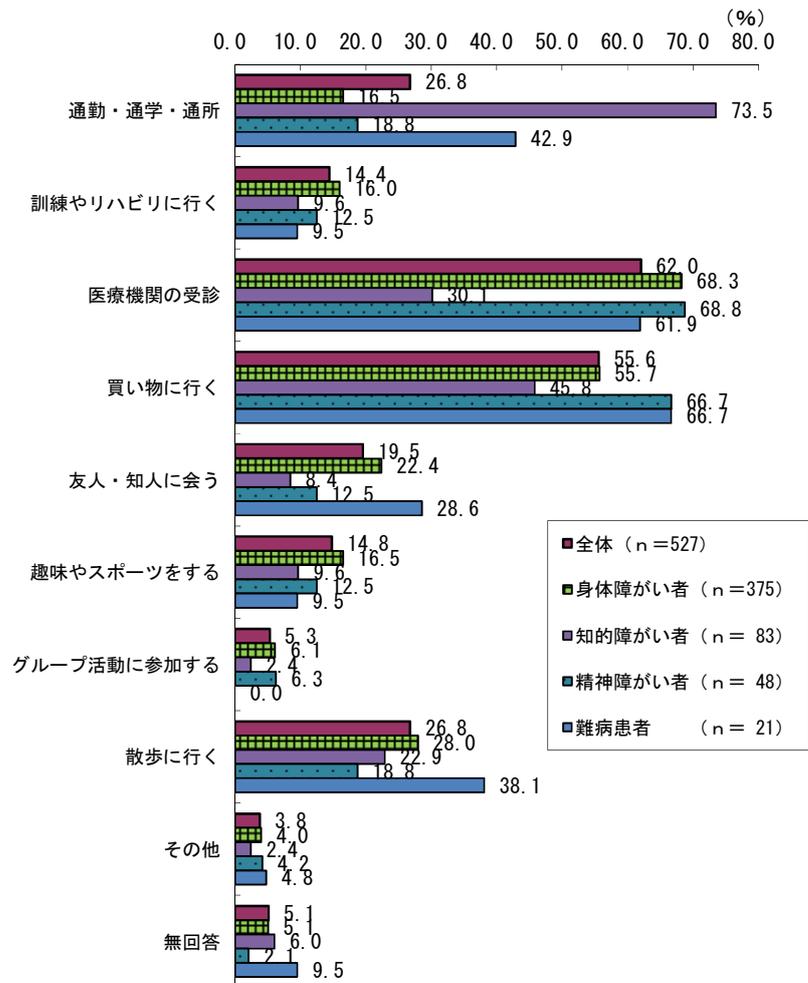
また、身体、精神障がい者と難病患者で2番目に多い回答は、身体障がい者・難病患者では「配偶者(夫または妻)」、精神障がい者では「父母・祖父母・兄弟」となっています。

	合計	父母・祖父母・兄弟	配偶者(夫または妻)	子ども(単身で家族は持っていない)	ホームヘルパーや施設の職員	その他の人	ひとりで外出する	無回答
全体	527	63	111	37	52	21	184	59
	100.0	12.0	21.1	7.0	9.9	4.0	34.9	11.2
身体	375	19	99	33	24	18	138	44
	100.0	5.1	26.4	8.8	6.4	4.8	36.8	11.7
知的	83	31	4	1	25	1	13	8
	100.0	37.3	4.8	1.2	30.1	1.2	15.7	9.6
精神	48	12	6	2	3	1	21	3
	100.0	25.0	12.5	4.2	6.3	2.1	43.8	6.3
難病	21	1	2	1	0	1	12	4
	100.0	4.8	9.5	4.8	0.0	4.8	57.1	19.0

問21 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

○全体と身体、精神障がい者では、「医療機関の受診」という回答が最も多く、知的障がい者では「通勤・通学・通所」が、難病患者では「買い物に行く」が、最も多くなっています。

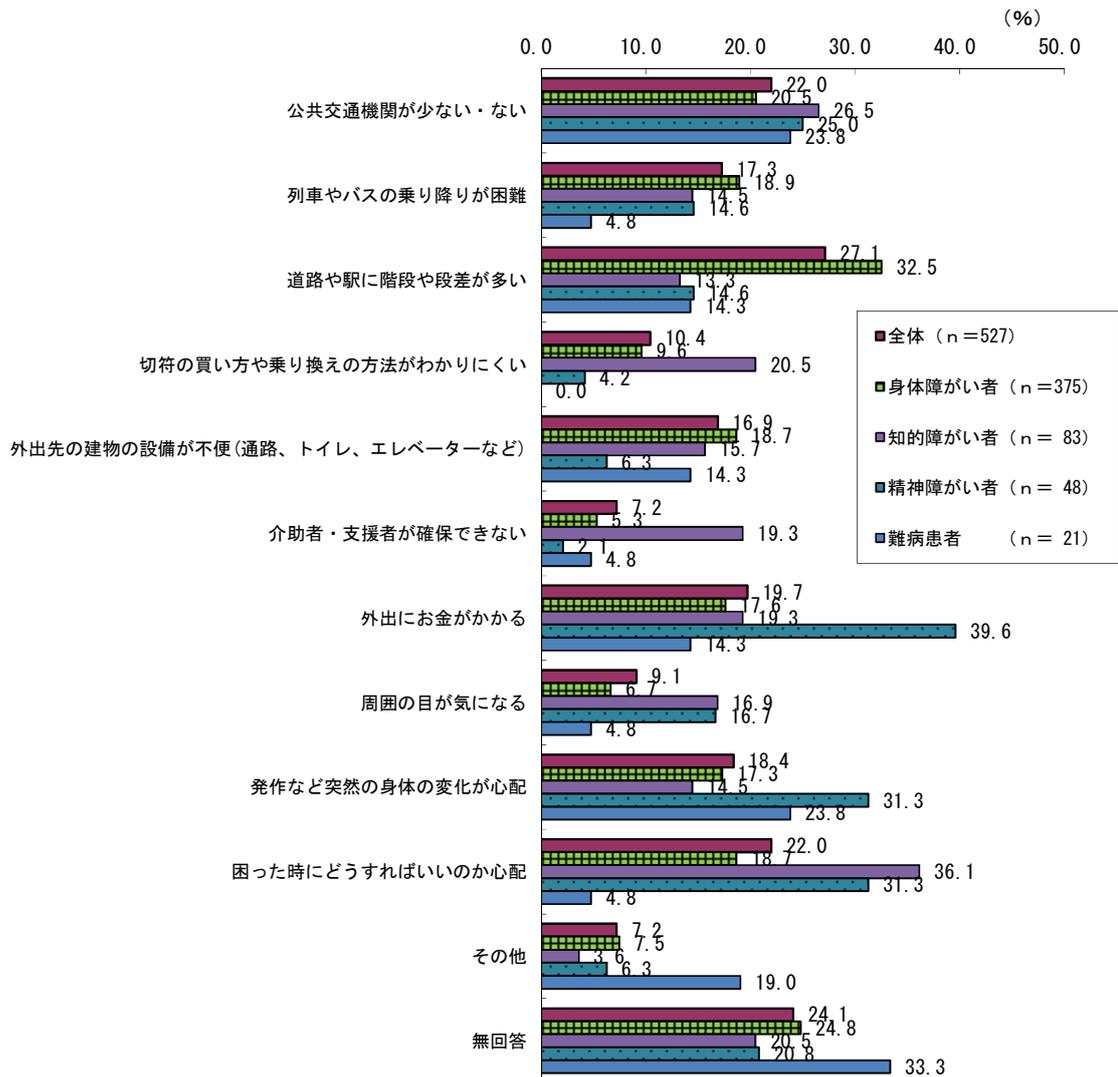
次いで多いのは、全体と身体、知的、精神障がい者では「買い物に行く」、難病患者では「医療機関の受診」となっています。



問22 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○全体では、「道路や駅に階段や段差が多い」(27.1%)という回答が最も多く、次いで「無回答」(24.1%)が多く、「公共交通機関が少ない・ない」と「困った時にどうすればいいのか心配」(ともに22.0%)が続いています。

障がい種別でみると、身体障がい者では「道路や駅に階段や段差が多い」が、知的障がい者では「公共交通機関が少ない・ない」が、精神障がい者では「外出にお金がかかる」が、難病患者では「無回答」が、それぞれ最も多くなっています。



問23 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(〇は1つだけ)

○全体と身体、精神障がい者では「自宅で過ごしている」が、知的障がい者では「福祉施設、作業所等に通っている」が、難病患者では「会社勤めや自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」と「自宅で過ごしている」が、それぞれ最も多くなっています。次いで多い回答は、全体と身体、精神障がい者では「会社勤めや自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」、知的障がい者では「特別支援学校(小、中、高等部)に通っている」、難病患者では「専業主婦(主夫)をしている」となっています。

	合計	会社勤めや自営業、家業などで収入を得る仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦(主夫)をしている	福祉施設、作業所等に通っている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等で過ごしている	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	特別支援学校(小、中、高等部)に通っている	一般の高校、小中学校に通っている	幼稚園、保育所、「星の子教室」などに通っている	その他	無回答
全体	581 100.0	86 14.8	2 0.3	67 11.5	58 10.0	14 2.4	18 3.1	224 38.6	44 7.6	1 0.2	13 2.2	10 1.7	7 1.2	14 2.4	23 4.0
身体	416 100.0	62 14.9	2 0.5	55 13.2	11 2.6	12 2.9	15 3.6	187 45.0	34 8.2	0 0.0	2 0.5	3 0.7	4 1.0	13 3.1	16 3.8
知的	92 100.0	9 9.8	0 0.0	1 1.1	41 44.6	1 1.1	1 1.1	7 7.6	7 7.6	0 0.0	11 12.0	5 5.4	3 3.3	1 1.1	5 5.4
精神	51 100.0	8 15.7	0 0.0	7 13.7	6 11.8	1 2.0	1 2.0	23 45.1	3 5.9	1 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0
難病	22 100.0	7 31.8	0 0.0	4 18.2	0 0.0	0 0.0	1 4.5	7 31.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1	0 0.0	0 0.0	1 4.5

問24 【問23で、「1」を選択した場合にお答えください。】
どのような勤務形態で働いていますか。(〇は1つだけ)

○全体では、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が86人中32人(37.2%)という回答が最も多く、「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」(同25人)、「自営業、農林水産業など」(22人)が続いています。身体障がい者では「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が、知的、精神障がい者では「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が、難病患者では「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」と「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が、それぞれ最も多くなっています。

	合計	正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない	正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある	パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	自営業、農林水産業など	その他	無回答
全体	86 100.0	25 29.1	5 5.8	32 37.2	22 25.6	0 0.0	2 2.3
身体	62 100.0	21 33.9	3 4.8	16 25.8	20 32.3	0 0.0	2 3.2
知的	9 100.0	1 11.1	1 11.1	7 77.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
精神	8 100.0	0 0.0	1 12.5	6 75.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
難病	7 100.0	3 42.9	0 0.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0	0 0.0

問25 【問23で、「1」以外を選択した18～64歳の方がお答えください。】

あなたは、今後収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つだけ)

○全体では、「仕事をしたくない、またはできない」が40.2%を占め、多くなっています。身体障がい者では「仕事をしたい」と「仕事をしたくない、またはできない」が同数、知的障がい者と精神障がい者では「仕事をしたくない、またはできない」が多くなっています。難病患者では、「仕事をしたい」が多く、「仕事をしたくない、またはできない」を上回っています。

	合計	仕事をしたい	仕事をしたくない、またはできない	無回答
全体	174	62	70	42
	100.0	35.6	40.2	24.1
身体	69	25	25	19
	100.0	36.2	36.2	27.5
知的	58	21	28	9
	100.0	36.2	48.3	15.5
精神	33	12	14	7
	100.0	36.4	42.4	21.2
難病	14	4	3	7
	100.0	28.6	21.4	50.0

問26 収入を得るために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(○は1つだけ)

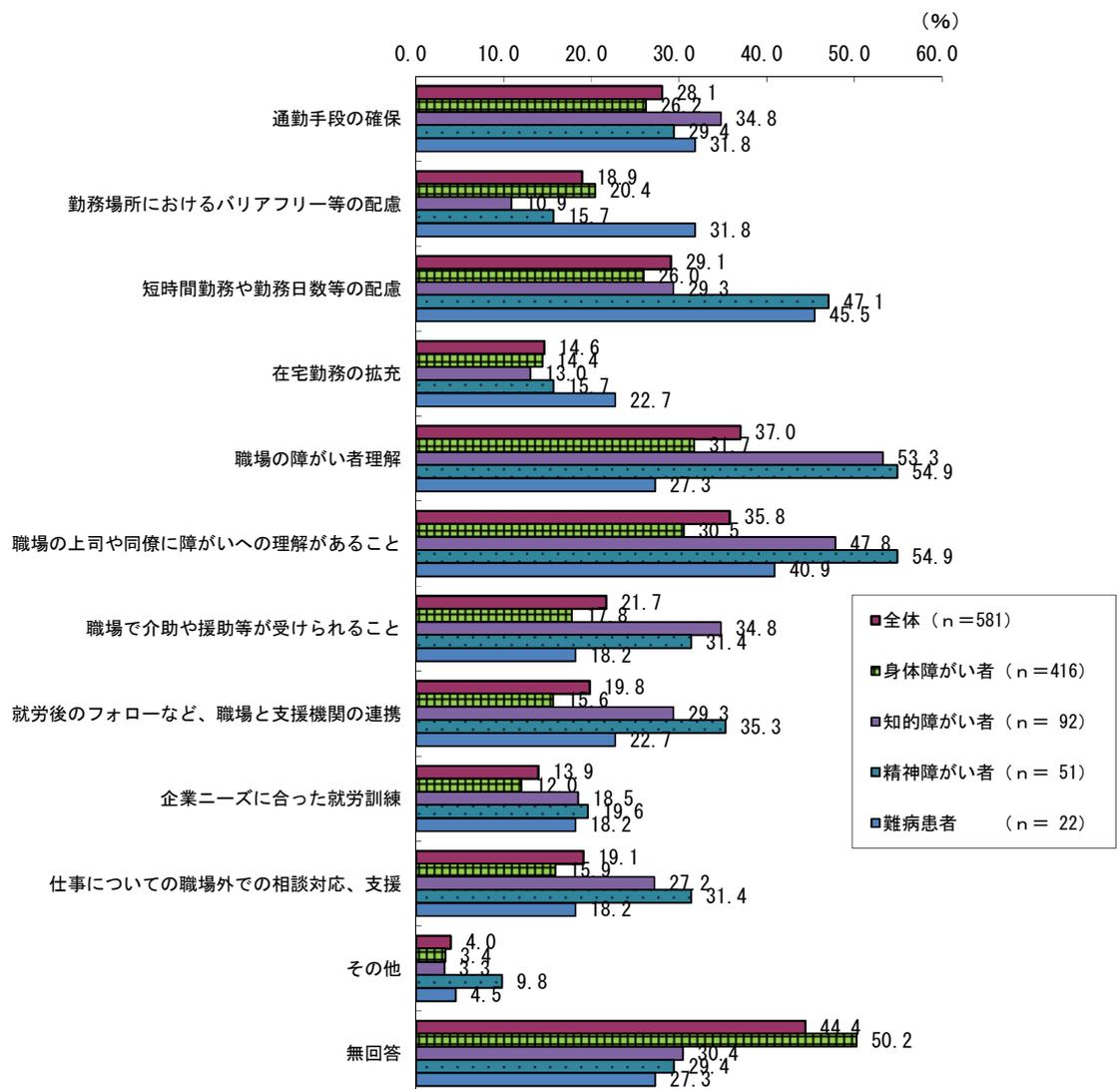
○全体と身体、知的障がい者では、「無回答」が最も多く、次いで「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が多くなっています。精神障がい者と難病患者では、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が最も多く、次いで「無回答」が多くなっています。また、「職業訓練を受けたい」と回答した人は、身体障がい者が25人、知的障がい者が21人、精神障がい者が13人の合計59人となっています。

	合計	すでに職業訓練を受けている	職業訓練を受けたい	職業訓練を受けたくない、受ける必要はない	無回答
全体	581	20	59	184	318
	100.0	3.4	10.2	31.7	54.7
身体	416	4	25	127	260
	100.0	1.0	6.0	30.5	62.5
知的	92	9	21	26	36
	100.0	9.8	22.8	28.3	39.1
精神	51	4	13	19	15
	100.0	7.8	25.5	37.3	29.4
難病	22	3	0	12	7
	100.0	13.6	0.0	54.5	31.8

問27 あなたは、障がいのある人の就労支援としてどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○「無回答」以外で、全体と身体、知的、精神障がい者では「職場の障がい者理解」が最も多く（精神障がい者では「職場の上司や同僚に障がいへの理解があること」も同数1位）、難病患者では「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が最も多くなっています。

	合計	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	職場の障がい者理解	職場の上司や同僚に障がいへの理解があること	職場で介助や援助等が受けられること	就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携	企業ニーズに合った就労訓練	仕事についての職場外での相談対応、支援	その他	無回答
全体	581 100.0	163 28.1	110 18.9	169 29.1	85 14.6	215 37.0	208 35.8	126 21.7	115 19.8	81 13.9	111 19.1	23 4.0	258 44.4
身体	416 100.0	109 26.2	85 20.4	108 26.0	60 14.4	132 31.7	127 30.5	74 17.8	65 15.6	50 12.0	66 15.9	14 3.4	209 50.2
知的	92 100.0	32 34.8	10 10.9	27 29.3	12 13.0	49 53.3	44 47.8	32 34.8	27 29.3	17 18.5	25 27.2	3 3.3	28 30.4
精神	51 100.0	15 29.4	8 15.7	24 47.1	8 15.7	28 54.9	28 54.9	16 31.4	18 35.3	10 19.6	16 31.4	5 9.8	15 29.4
難病	22 100.0	7 31.8	7 31.8	10 45.5	5 22.7	6 27.3	9 40.9	4 18.2	5 22.7	4 18.2	4 18.2	1 4.5	6 27.3



5 障害福祉サービス等の利用について

問28 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

○全体、各障がい種別とも、「受けていない」という回答が最も多くなっていますが、「受けていない」と「無回答」以外では、全体では「区分2」が、身体障がい者では「区分1」と「区分3」が、知的、精神障がい者と難病患者では「区分2」が、それぞれ最も多くなっています。

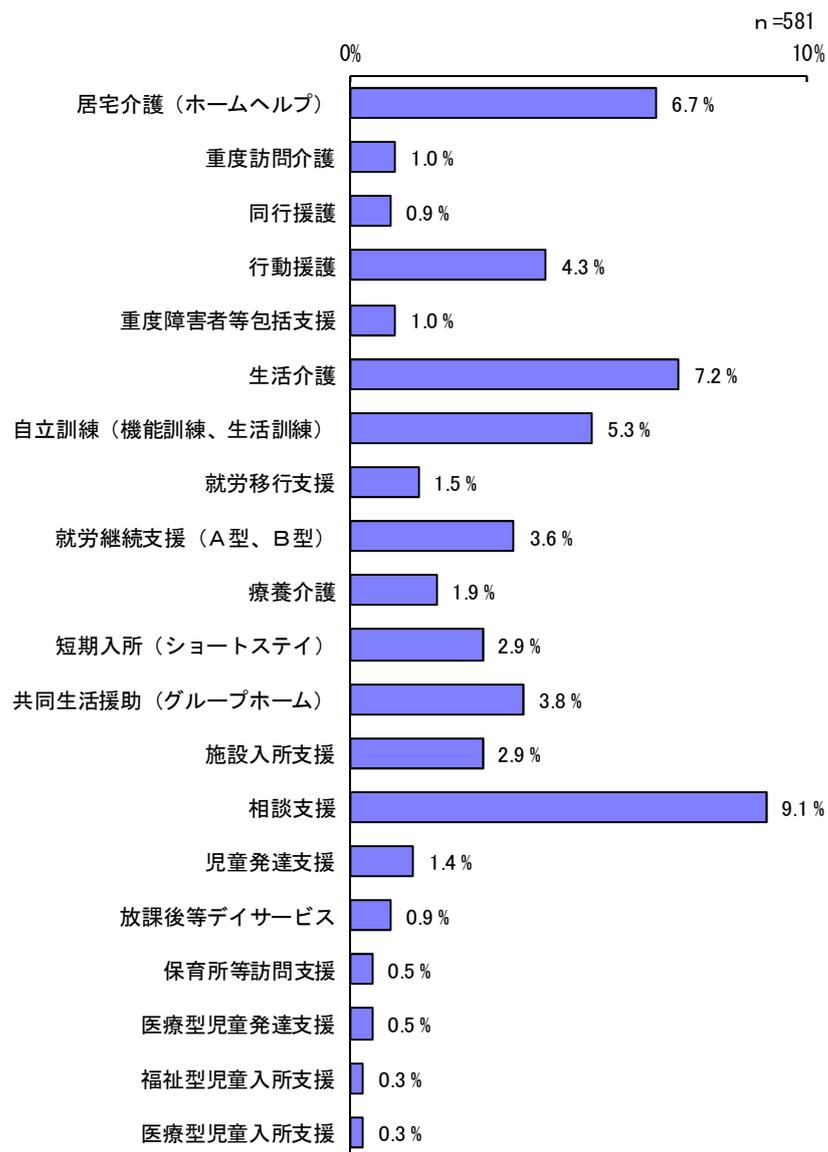
	合計	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	無回答
全体	581 100.0	10 1.7	16 2.8	15 2.6	4 0.7	10 1.7	8 1.4	359 61.8	159 27.4
身体	416 100.0	7 1.7	5 1.2	7 1.7	3 0.7	4 1.0	2 0.5	266 63.9	122 29.3
知的	92 100.0	3 3.3	7 7.6	6 6.5	1 1.1	6 6.5	6 6.5	39 42.4	24 26.1
精神	51 100.0	0 0.0	3 5.9	2 3.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	34 66.7	12 23.5
難病	22 100.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 90.9	1 4.5

問29 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①～⑳のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方に回答〔番号に○印〕してください。)

【サービスの現在の利用状況】

○いずれのサービスについても「利用していない」という回答が多いですが、全体では、「利用している」が比較的多いサービスは、「相談支援」(9.1%)、「生活介護」(7.2%)、「居宅介護(ホームヘルプ)」(6.7%)等となっています。

それらのサービスの利用状況を障がい種別でみた結果は、次ページの各表の通りです。



《居宅介護（ホームヘルプ）》

	合計	利用して いる	利用して いない	無回答
全体	581 100.0	39 6.7	388 66.8	154 26.5
身体	416 100.0	26 6.3	270 64.9	120 28.8
知的	92 100.0	7 7.6	65 70.7	20 21.7
精神	51 100.0	6 11.8	34 66.7	11 21.6
難病	22 100.0	0 0.0	19 86.4	3 13.6

《生活介護》

	合計	利用して いる	利用して いない	無回答
全体	581 100.0	42 7.2	348 59.9	191 32.9
身体	416 100.0	21 5.0	246 59.1	149 35.8
知的	92 100.0	18 19.6	50 54.3	24 26.1
精神	51 100.0	2 3.9	36 70.6	13 25.5
難病	22 100.0	1 4.5	16 72.7	5 22.7

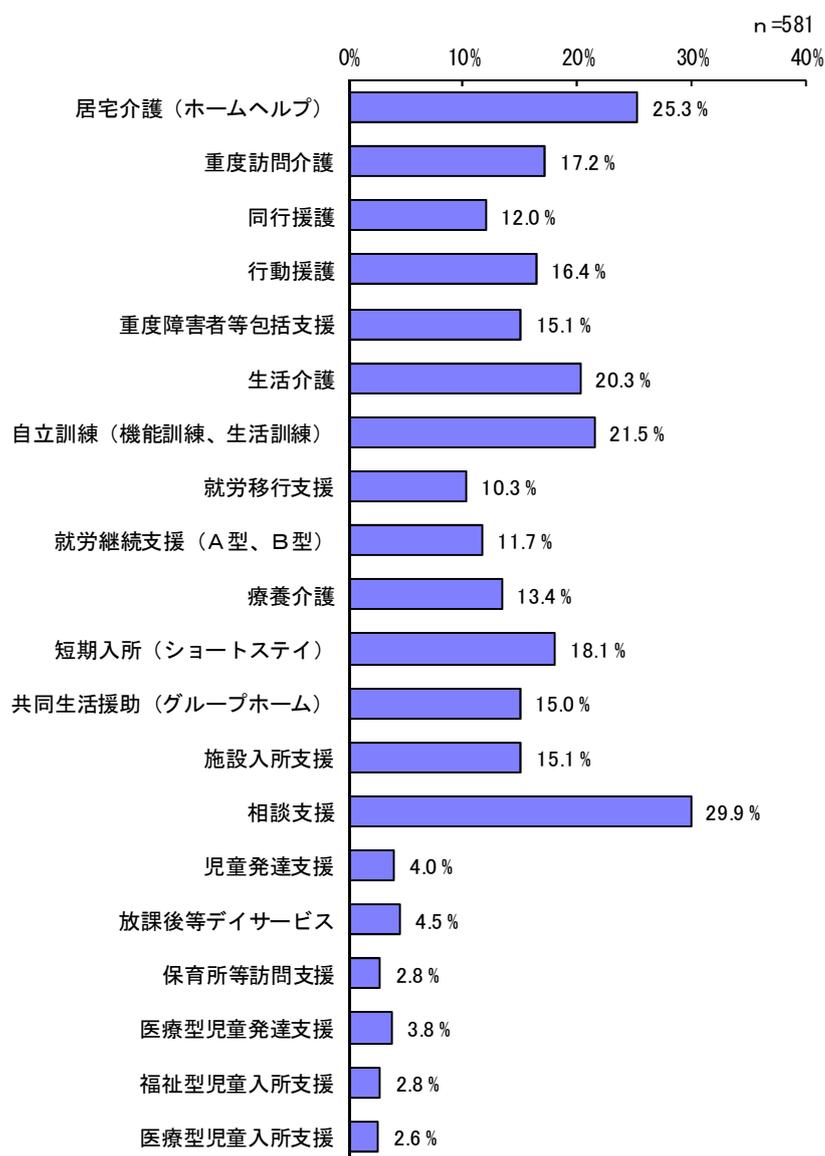
《相談支援》

	合計	利用して いる	利用して いない	無回答
全体	581 100.0	53 9.1	321 55.2	207 35.6
身体	416 100.0	26 6.3	227 54.6	163 39.2
知的	92 100.0	19 20.7	45 48.9	28 30.4
精神	51 100.0	7 13.7	31 60.8	13 25.5
難病	22 100.0	1 4.5	18 81.8	3 13.6

【サービスの今後の利用意向】

○「利用しない」という回答が「利用したい」よりも多いサービスがほとんどですが、全体では、「利用したい」が比較的多いサービスは、「相談支援」(29.9%)、「居宅介護(ホームヘルプ)」(25.3%)、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」(21.5%)、「生活介護」(20.3%)等となっています。

それらのサービスの利用意向を障がい種別でみた結果は、次ページの各表の通りです。



《居宅介護（ホームヘルプ）》

	合計	利用した い	利用しな い	無回答
全体	581	147	239	195
	100.0	25.3	41.1	33.6
身体	416	108	157	151
	100.0	26.0	37.7	36.3
知的	92	21	47	24
	100.0	22.8	51.1	26.1
精神	51	12	23	16
	100.0	23.5	45.1	31.4
難病	22	6	12	4
	100.0	27.3	54.5	18.2

《生活介護》

	合計	利用した い	利用しな い	無回答
全体	581	118	205	258
	100.0	20.3	35.3	44.4
身体	416	85	133	198
	100.0	20.4	32.0	47.6
知的	92	25	33	34
	100.0	27.2	35.9	37.0
精神	51	4	27	20
	100.0	7.8	52.9	39.2
難病	22	4	12	6
	100.0	18.2	54.5	27.3

《自立訓練（機能訓練、生活訓練）》

	合計	利用した い	利用しな い	無回答
全体	581	125	201	255
	100.0	21.5	34.6	43.9
身体	416	80	137	199
	100.0	19.2	32.9	47.8
知的	92	29	33	30
	100.0	31.5	35.9	32.6
精神	51	11	20	20
	100.0	21.6	39.2	39.2
難病	22	5	11	6
	100.0	22.7	50.0	27.3

《相談支援》

	合計	利用した い	利用しな い	無回答
全体	581	174	157	250
	100.0	29.9	27.0	43.0
身体	416	107	110	199
	100.0	25.7	26.4	47.8
知的	92	43	20	29
	100.0	46.7	21.7	31.5
精神	51	17	16	18
	100.0	33.3	31.4	35.3
難病	22	7	11	4
	100.0	31.8	50.0	18.2

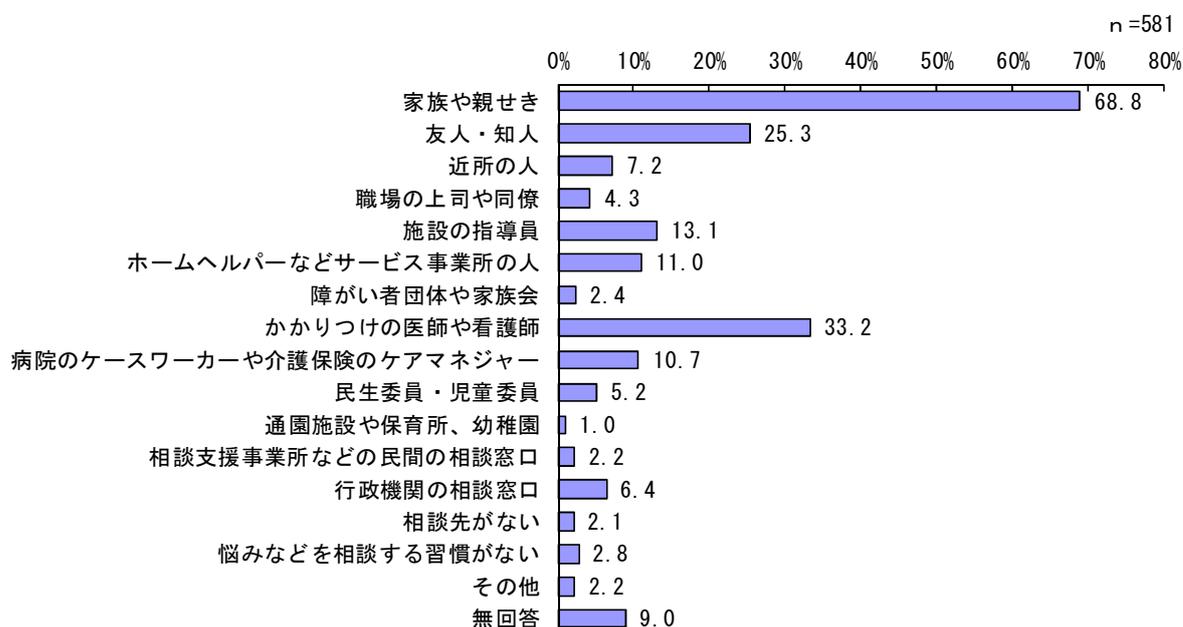
6 相談相手について

問30 あなたは普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

○全体では「家族や親せき」(68.8%)という回答が最も多く、「かかりつけの医師や看護師」(33.2%)、「友人・知人」(25.3%)が続いています。

障がい等種別では、すべての障がい・病気で「家族や親せき」が最も多く、また、次いで多いのは、身体障がい者と精神障がい者では「かかりつけの医師や看護師」、知的障がい者では「施設の指導員」、難病患者では「友人・知人」となっています。

〈全体〉



〈障がい種別〉

	合計	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	障がい者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	民生委員・児童委員
身体	416	297	108	35	9	33	37	6	146	47	26
	100.0	71.4	26.0	8.4	2.2	7.9	8.9	1.4	35.1	11.3	6.3
知的	92	52	15	3	9	30	18	6	18	5	1
	100.0	56.5	16.3	3.3	9.8	32.6	19.6	6.5	19.6	5.4	1.1
精神	51	34	14	4	4	13	8	2	23	10	3
	100.0	66.7	27.5	7.8	7.8	25.5	15.7	3.9	45.1	19.6	5.9
難病	22	17	10	0	3	0	1	0	6	0	0
	100.0	77.3	45.5	0.0	13.6	0.0	4.5	0.0	27.3	0.0	0.0

	合計	通園施設や保育所、幼稚園	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	相談先がない	悩みなどを相談する習慣がない	その他	無回答
身体	416	2	2	23	9	8	8	40
	100.0	0.5	0.5	5.5	2.2	1.9	1.9	9.6
知的	92	3	6	7	1	7	4	8
	100.0	3.3	6.5	7.6	1.1	7.6	4.3	8.7
精神	51	1	5	6	1	0	1	4
	100.0	2.0	9.8	11.8	2.0	0.0	2.0	7.8
難病	22	0	0	1	1	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5	0.0	0.0

問31 あなたは、障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

○全体と身体障がい者では、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」という回答が最も多く、次いで「行政機関の広報誌」が多くなっています。

知的、精神障がい者では、順に「サービス事業所の人や施設職員」、「かかりつけの医師や看護師」が最も多く、次いで、順に「家族や親せき、友人・知人」、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が多くなっています。

難病患者では、「行政機関の広報誌」が最も多く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」・「家族や親せき、友人・知人」・「かかりつけの医師や看護師」が多くなっています。

	合計	本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	行政機関の広報誌	インターネット	家族や親せき、友人・知人	サービス事業所の人や施設職員	障がい者団体や家族会(団体の機関誌など)	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	民生委員・児童委員	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生
全体	581 100.0	176 30.3	166 28.6	42 7.2	163 28.1	99 17.0	27 4.6	142 24.4	77 13.3	29 5.0	16 2.8
身体	416 100.0	142 34.1	134 32.2	24 5.8	125 30.0	61 14.7	17 4.1	114 27.4	65 15.6	25 6.0	3 0.7
知的	92 100.0	15 16.3	13 14.1	5 5.4	21 22.8	30 32.6	8 8.7	7 7.6	4 4.3	2 2.2	13 14.1
精神	51 100.0	12 23.5	9 17.6	8 15.7	10 19.6	8 15.7	1 2.0	14 27.5	8 15.7	2 3.9	0 0.0
難病	22 100.0	7 31.8	10 45.5	5 22.7	7 31.8	0 0.0	1 4.5	7 31.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	合計	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	ほとんど情報を得られていない	情報を得る必要がない	その他	無回答
全体	581 100.0	20 3.4	51 8.8	51 8.8	9 1.5	13 2.2	62 10.7
身体	416 100.0	5 1.2	29 7.0	31 7.5	7 1.7	7 1.7	44 10.6
知的	92 100.0	8 8.7	13 14.1	9 9.8	1 1.1	5 5.4	10 10.9
精神	51 100.0	7 13.7	8 15.7	7 13.7	1 2.0	1 2.0	7 13.7
難病	22 100.0	0 0.0	1 4.5	4 18.2	0 0.0	0 0.0	1 4.5

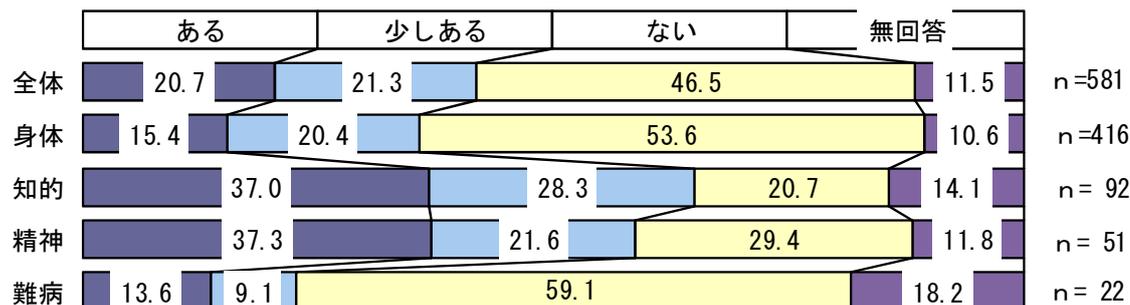
7 権利擁護について

問32 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つだけ）

○全体結果と身体障がい者、難病患者では、「ない」が最も多いですが、知的障がい者と精神障がい者では「ある」が最も多く、ともに3割台の後半となっています。

知的障がい者では、「ある」と「少しある」を合わせると約6割5分になります。

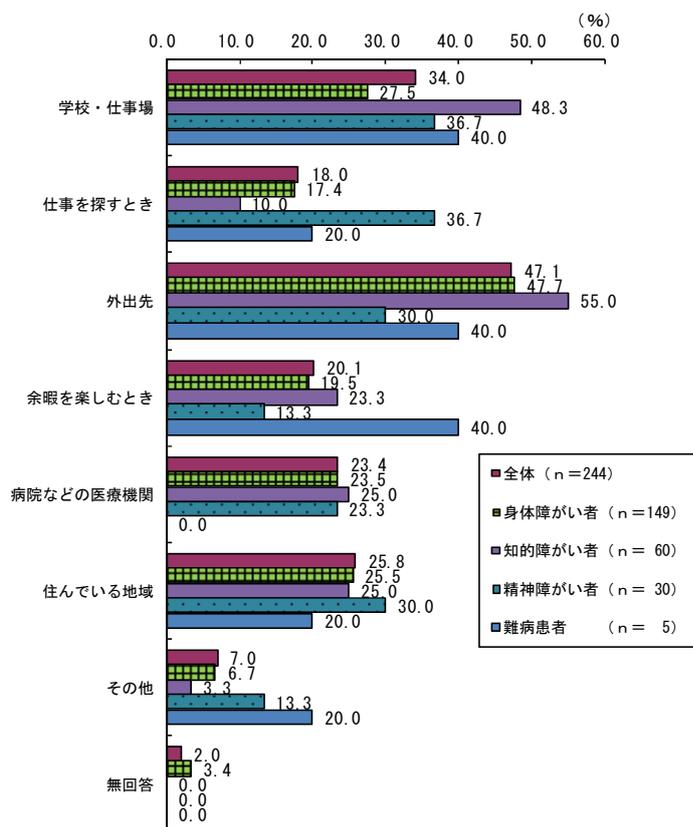
単位：%



問33 【問32で、「1」または「2」と回答された方がお答えください。】
どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまるものすべてに○）

○全体と身体障がい者、知的障がい者では「外出先」が最も多く、精神障がい者では「学校・仕事場」と「仕事を探すとき」が最も多くなっています。

また、難病患者では、「学校・仕事場」・「外出先」・「余暇を楽しむとき」の3つが最も多くなっています。



問34 平成28年4月の「障害者差別解消法」の施行と関連して、あなたが、障がいのある人への配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、□内に具体的な内容をご記入ください。(〇は3つまで)

○全体と各障がい・病気のいずれでも、「特にない」、「無回答」が最も多くなっていますが、それら以外では、全体と身体障がい者では「市役所などの行政機関で」が、知的障がい者では「福祉サービスで」が、精神障がい者では「市役所などの行政機関で」と「公共交通、公共施設などで」が、難病患者では「公共交通、公共施設などで」がそれぞれ最も多くなっています。

	合計	市役所などの行政機関で	公共交通、公共施設などで	職場で	学校、教育の場面で	病院・診療所などで	民間サービス(飲食店、習い事などで)	福祉サービスで	住む場所や家を借りる場面で	情報、コミュニケーションで	近隣、地域で
全体	581 100.0	69 11.9	46 7.9	5 0.9	9 1.5	52 9.0	8 1.4	37 6.4	2 0.3	1 0.2	17 2.9
身体	416 100.0	58 13.9	34 8.2	2 0.5	2 0.5	41 9.9	6 1.4	23 5.5	1 0.2	0 0.0	14 3.4
知的	92 100.0	7 7.6	6 6.5	2 2.2	6 6.5	7 7.6	2 2.2	10 10.9	1 1.1	0 0.0	2 2.2
精神	51 100.0	4 7.8	4 7.8	0 0.0	1 2.0	3 5.9	0 0.0	3 5.9	0 0.0	0 0.0	1 2.0
難病	22 100.0	0 0.0	2 9.1	1 4.5	0 0.0	1 4.5	0 0.0	1 4.5	0 0.0	1 4.5	0 0.0

	合計	特にない	その他	無回答
全体	581 100.0	202 34.8	9 1.5	233 40.1
身体	416 100.0	132 31.7	6 1.4	177 42.5
知的	92 100.0	35 38.0	1 1.1	31 33.7
精神	51 100.0	26 51.0	1 2.0	16 31.4
難病	22 100.0	9 40.9	1 4.5	9 40.9

【「配慮」の具体的な内容】

<市役所などの行政機関>

- ・職員が親切で有難い。(身体)
- ・細かな事を教えてくれた。(身体)
- ・代筆してくれるようになった。移動の手伝いをしてもらった。(身体)
- ・聞こえない私にメモして下さって、私ができるように、とても感謝しています。(身体)
- ・わかるように説明してくれます。(知的)
- ・統合失調症ですと相談したら、すぐ手帳が

県で認定されると、すぐに教えてくれた。(精神)

<公共交通、公共施設など>

- ・公共の場に身障者用のトイレがある事。(身体)
- ・障害者用の駐車スペースの確保。(身体)
- ・鉄道利用時、親切にいただいたこと(わからなくてまごついていた時)。(身体)
- ・東京で電車の席を何度も譲っていただいて有難く思った。(身体)
- ・駅員の対応親切、公共施設でも親切。(身体)
- ・電車、バス、ホテルなどのバリアフリー化。(身体)
- ・エレベーターなど移動時の支援が良くなった。(知的)
- ・踏切が無かった場所に警報ランプが設置された。(精神)

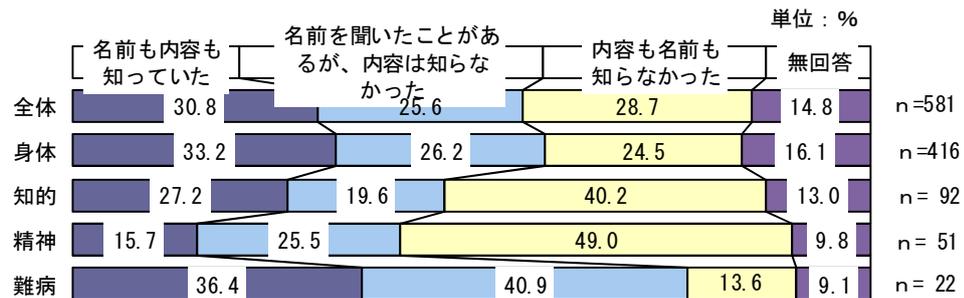
<福祉サービス>

- ・タクシー券の利用や自動車税免除、医療費免除など。(身体)
- ・影森デイサービスで私の障害の内容や程度をスタッフ全員が的確に把握して対応してくれた。(身体)
- ・福祉施設等の利用化。(身体)
- ・医療機関への急な受診同行サービス。(身体)
- ・在宅時ヘルパーさんが良くしてくれました。(精神)

問35 あなたは、「成年後見制度」についてご存知でしたか。(○は1つだけ)

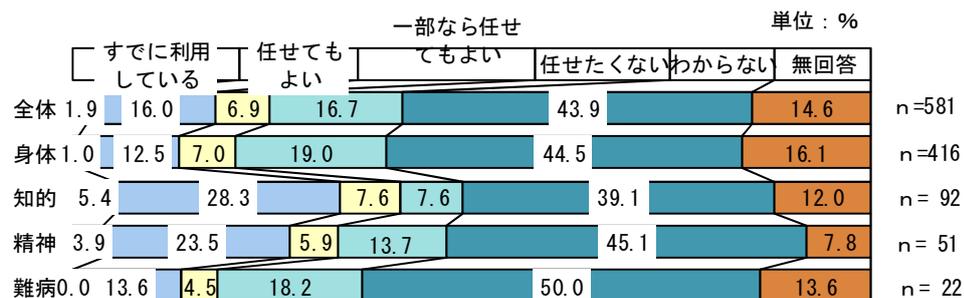
※「成年後見制度」は、判断能力が不十分な成年者（認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者等）が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立てをし、その方を援助してくれる方（「後見人」）を付け、財産管理や福祉サービスの利用などを任せる制度です。

○「成年後見制度」については、全体と身体障がい者では「名前も内容も知っていた」が、知的、精神障がい者では「内容も名前も知らなかった」が、難病患者では「名前を聞いたことがあるが、内容は知らなかった」が、それぞれ最も多くなっています。



問36 あなたは、万一自分自身では判断ができなくなった場合、「成年後見制度」を利用し財産管理などを任せることについて、どう思いますか。(○は1つだけ)

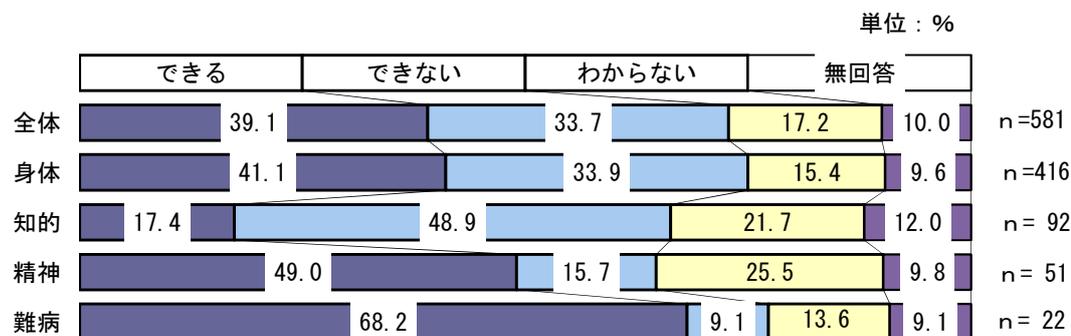
○全体と各障がい・病気のいずれでも、「わからない」が最も多くなっています。次いで多かった回答は、全体と身体障がい者・難病患者では「任せたくない」、知的障がい者と精神障がい者では「任せてもよい」となっています。



8 災害時の避難等について

問37 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

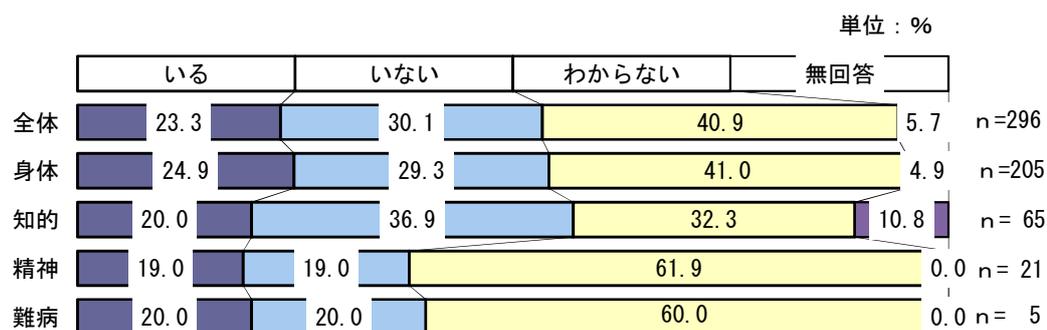
○全体と身体、精神障がい者・難病患者では「できる」が最も多い回答ですが、知的障がい者では「できない」が最も多く、半数近くを占めています。



・問37で「できない」または「わからない」と答えた方が回答してください。

問38 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

○全体と身体、精神障がい者・難病患者では「わからない」が最も多いですが、知的障がい者では「いない」が最も多くなっています。



問39 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○全体と身体障がい者では「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が、知的障がい者では「安全な所まで迅速に避難することができない」が、精神障がい者と難病患者では「投薬や治療が受けられない」がそれぞれ最も多くなっており、各障がい、病気の特徴が現れています。

	合計	投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全な所まで迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	特になし	その他	無回答
全体	581	269	58	87	116	247	123	96	275	53	21	82
	100.0	46.3	10.0	15.0	20.0	42.5	21.2	16.5	47.3	9.1	3.6	14.1
身体	416	193	48	72	71	180	77	49	205	41	17	60
	100.0	46.4	11.5	17.3	17.1	43.3	18.5	11.8	49.3	9.9	4.1	14.4
知的	92	30	8	9	38	52	35	38	40	6	1	15
	100.0	32.6	8.7	9.8	41.3	56.5	38.0	41.3	43.5	6.5	1.1	16.3
精神	51	30	1	6	5	10	6	9	20	4	3	6
	100.0	58.8	2.0	11.8	9.8	19.6	11.8	17.6	39.2	7.8	5.9	11.8
難病	22	16	1	0	2	5	5	0	10	2	0	1
	100.0	72.7	4.5	0.0	9.1	22.7	22.7	0.0	45.5	9.1	0.0	4.5

問40 秩父市では、地域の自主組織などに住所や氏名、身体状況などの個人情報を登録し災害時に避難誘導や情報伝達を受ける制度（「避難行動要支援者支援制度」）を実施していますが、あなたは利用していますか。（○は1つだけ）

○全体結果、各障がい・病気共に「利用していない」が「利用している」を大きく上回っていますが、知的障がい者では「利用している」が比較的多く1割台半ばを占めており、特徴的になっています。

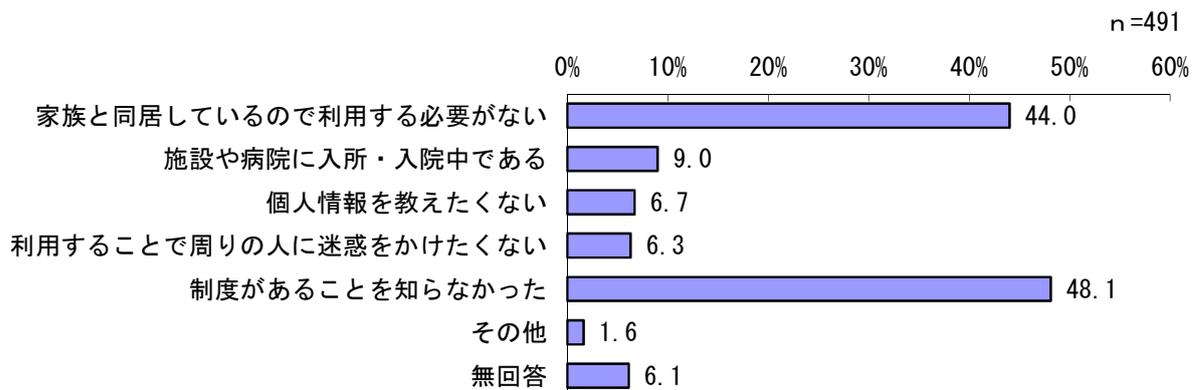


問41 「問40で「利用していない」と答えた方」

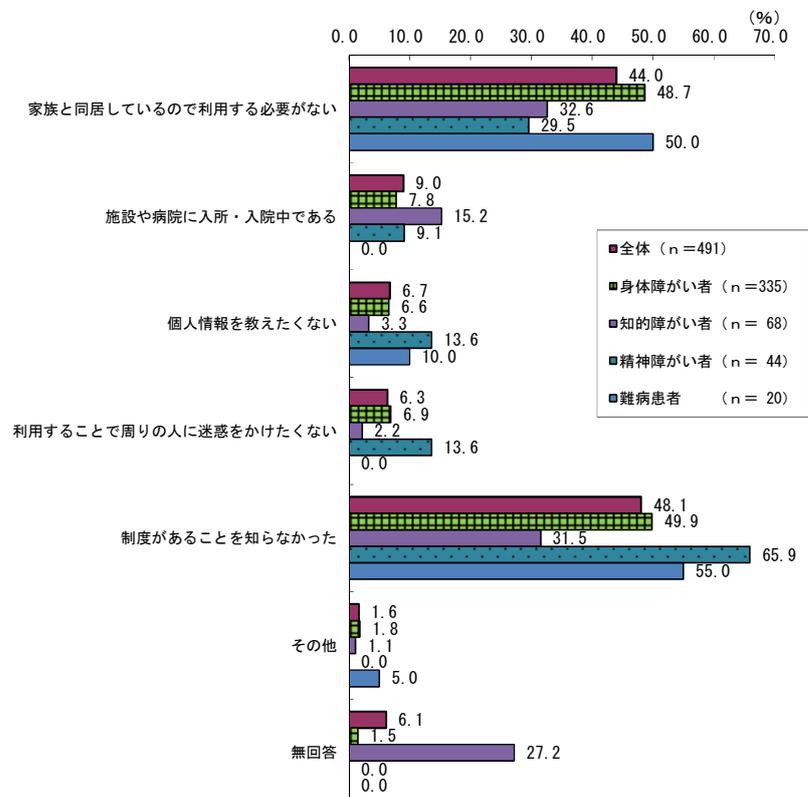
あなたが現在、「避難行動要支援者支援制度」を利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

○全体では、「制度があることを知らなかった」（48.1%）という回答が最も多く、次いで「家族と同居しているので利用する必要がない」（44.0%）が多くなっています。
障がい種別でみると、身体、精神障がい者と難病患者では「制度があることを知らなかった」が最も多く、知的障がい者では「家族と同居しているので利用する必要がない」が最も多くなっています。

〈全体〉



〈障がい種別〉



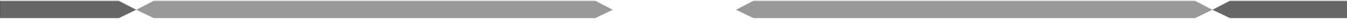
◎最後に、障害福祉サービスや行政の取り組みについて何かご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

○〔別紙ご参照〕



第3章

付属資料



とい 問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

- 1 本人 (この調査票が郵送された宛名の方)
- 2 本人の家族
- 3 家族以外の介助者・支援者

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人 (この調査票の対象者：障がいのある方) の状況などについて、お答えください。

あなた (宛名の方) の性別・年齢・ご家族などについて

とい 問2 あなたの年齢をお答えください。(平成29年6月1日現在)

まん () さい 歳

とい 問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- 1 男性
- 2 女性

とい 問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 父母・祖父母・兄弟
- 2 配偶者 (夫または妻)
- 3 子ども
- 4 その他
- 5 いない (一人で暮らしている)

※グループホーム、福祉施設等を利用されている方は、「5」と回答してください。

問5 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つずつ)

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事	1	2	3
② トイレ	1	2	3
③ 入浴	1	2	3
④ 衣服の着脱	1	2	3
⑤ 身だしなみ	1	2	3
⑥ 家の中の移動	1	2	3
⑦ 外出	1	2	3
⑧ 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑨ お金の管理	1	2	3
⑩ 薬の管理	1	2	3



(問5で、1つでも「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方へ)

問6 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 父母・祖父母・兄弟	4 ホームヘルパーや施設の職員
2 配偶者(夫または妻)	5 その他の人(ボランティア等)
3 子ども	

問7 (問6で「1」～「3」を答えた方へ) あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

① 年齢(平成29年6月1日現在)

満()歳

② 性別(○は1つだけ)

1 男性 2 女性

③ 健康状態(○は1つだけ)

1 よい 2 ふつう 3 よくない

あなたの障がいの状況について

問8 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

1 1級	3 3級	5 5級	7 持っていない
2 2級	4 4級	6 6級	

問9 (問8で「1」～「6」を答えた方へ) お持ちの身体障害者手帳の、主たる障害をお答えください。(〇は1つだけ)

1 視覚障害	5 肢体不自由 (下肢)
2 聴覚障害	6 肢体不自由 (体幹)
3 音声・言語・そしゃく機能障害	7 内部障害 (「1」～「6」以外)
4 肢体不自由 (上肢)	

問10 あなたは療育手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

1 A判定	2 B判定	3 C判定	4 持っていない
-------	-------	-------	----------

問11 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

1 1級	2 2級	3 3級	4 持っていない
------	------	------	----------

問12 あなたは指定難病の認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

※「指定難病」とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの、治療法が確立していない疾病やその他の特殊な疾病をいいます。

1 受けている	2 受けていない
---------	----------

問13 あなたは、発達障がいとして診断されたことはありますか。(○は1つだけ)

※発達障がいは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなどをいいます。

1 ある

2 ない

問14 あなたは、高次脳機能障がいとして診断されたことはありますか。(○は1つだけ)

※高次脳機能障がいは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受け、その後遺症等として生じた記憶障がい、注意障がい、社会的行動障がいなどの認知障がい等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

1 ある

2 ない

問15 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。

(あてはまるものすべてに○)

1 気管切開

2 人工呼吸器 (レスピレーター)

3 吸入

4 吸引

5 胃ろう・腸ろう

6 鼻腔経管栄養

7 中心静脈栄養 (IHV)

8 透析

9 カテーテル留置

10 ストマ (人工肛門・人口膀胱)

11 服薬管理

12 その他 ()

住まいや暮らしについて

問16 あなたは現在、どのように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

- 1 一人で暮らしている
- 2 家族と暮らしている
- 3 グループホームで暮らしている
- 4 福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている
- 5 病院に入院している
- 6 その他（ ）

【問17と問18は、問16で「4」または「5」を選択した場合にお答えください。】

問17 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。(〇は1つだけ)

- 1 今のまま地域で生活したい
- 2 グループホームなどを利用して地域で生活したい
- 3 家族と一緒に地域で生活したい
- 4 地域の一般の住宅でひとり暮らしをしたい
- 5 特に地域で生活したいと思わない
- 6 その他（ ）

問18 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに〇)

- 1 在宅で医療ケアなどが適切に得られること
- 2 障がいに適した住居の確保
- 3 必要な在宅サービスが適切に利用できること
- 4 生活訓練等の充実
- 5 経済的な負担の軽減
- 6 相談対応等の充実
- 7 地域住民等の理解
- 8 その他（ ）

にっちゅうかつどう しゅうろう
日中活動や就労について

問19 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 毎日外出する | 4 まったく外出しない |
| 2 1週間に数回外出する | |
| 3 めったに外出しない | |

【問20～問22は、問19で「4」以外を選択した場合にお答えください。】

問20 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 父母・祖父母・兄弟 | 4 ホームヘルパーや施設の職員 |
| 2 配偶者(夫または妻) | 5 その他の人 |
| 3 子ども(単身で家族は持っていない) | 6 ひとりで外出する |

問21 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 通勤・通学・通所 | 6 趣味やスポーツをする |
| 2 訓練やりハビリに行く | 7 グループ活動に参加する |
| 3 医療機関の受診 | 8 散歩に行く |
| 4 買い物に行く | 9 その他() |
| 5 友人・知人に会う | |

問22 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1 公共交通機関が少ない・ない |
| 2 列車やバスの乗り降りが困難 |
| 3 道路や駅に階段や段差が多い |
| 4 切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい |
| 5 外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど) |
| 6 介助者・支援者が確保できない |
| 7 外出にお金がかかる |
| 8 周囲の目が気になる |
| 9 発作など突然の身体の変化が心配 |
| 10 困った時にどうすればいいのか心配 |
| 11 その他() |

問23 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

- 1 会社勤めや自営業、家業などで収入を得る仕事をしている
- 2 ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
- 3 専業主婦(主夫)をしている
- 4 福祉施設、作業所等に通っている
- 5 病院などのデイケアに通っている
- 6 リハビリテーションを受けている
- 7 自宅で過ごしている
- 8 入所している施設や病院等で過ごしている
- 9 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
- 10 特別支援学校(小、中、高等部)に通っている
- 11 一般の高校、小中学校に通っている
- 12 幼稚園、保育所、「星の子教室」などに通っている
- 13 その他()

【問23で、「1」を選択した場合にお答えください。】

問24 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

- 1 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない
- 2 正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある
- 3 パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
- 4 自営業、農林水産業など
- 5 その他()

【問23で、「1」以外を選択した18～64歳の方がお答えください。】

問25 あなたは、今後収入を得る仕事をしたいと思えますか。(○は1つだけ)

- 1 仕事をしたい
- 2 仕事をしたくない、またはできない

問26 収入を得るために、職業訓練などを受けたいと思えますか。(○は1つだけ)

- 1 すでに職業訓練を受けている
- 2 職業訓練を受けたい
- 3 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない

問27 あなたは、障がいのある人の就労支援としてどのようなことが必要だと思いま
すか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|-----------------------|
| 1 | 通勤手段の確保 |
| 2 | 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮 |
| 3 | 短時間勤務や勤務日数等の配慮 |
| 4 | 在宅勤務の拡充 |
| 5 | 職場の障がい者理解 |
| 6 | 職場の上司や同僚に障がいへの理解があること |
| 7 | 職場で介助や援助等が受けられること |
| 8 | 就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携 |
| 9 | 企業ニーズに合った就労訓練 |
| 10 | 仕事についての職場外での相談対応、支援 |
| 11 | その他 () |

障害福祉サービス等の利用について

問28 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|--------|
| 1 | 区分1 | 3 | 区分3 | 5 | 区分5 | 7 | 受けていない |
| 2 | 区分2 | 4 | 区分4 | 6 | 区分6 | | |

問29 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。
(①～⑭のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方に回答〔番号に○印〕してください。)

	現在利用 しているか		今後利用 したいか	
	利用 している	利用 していない	利用 したい	利用 しない
① 居宅介護 (ホームヘルプ) 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行う サービスです。	1	2	1	2

	げんざいりよう 現在利用 しているか		こんごりよう 今後利用 したいか	
	りよう 利用 している	りよう 利用 していない	りよう 利用 したい	りよう 利用 しない
<p>じゅうどほうもんかいご ②重度訪問介護</p> <p>じゅうど しょう かね かいご ひつよう かた 重度の障がいがあり常に介護が必要な方に、 じたく にゅうよく はい しょくじ かいじょ がいしゅつ 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助や外出 じ いどう ほじょ おこな 時の移動の補助を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>どうこうえんご ③同行援護</p> <p>しかくしょうがい いどう いちじるし こんなん かた 視覚障害により移動が著しく困難な方に、 がいしゅつ ひつよう じょうほう ていきょう いどう えんご おこな 外出に必要な情報の提供や移動の援護を行 うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>こうどうえんご ④行動援護</p> <p>ちてきしょうがい せいしんしょうがい こうどう こんなん つね 知的障害や精神障害により行動が困難で常に かいご ひつよう かた こうどう ひつよう かいじょ 介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や がいしゅつ じ いどう ほじょ おこな 外出時の移動の補助などを行うサービスで す。</p>	1	2	1	2
<p>じゅうどしょうがいしゃとうほうかつしえん ⑤重度障害者等包括支援</p> <p>かね かいご ひつよう かた かいご ひつよう ていど 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が いちじる たか かた きょたくかいご 著しく高い方に、居宅介護などのサービスを ほうかつてき ていきょう 包括的に提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>せいかつかいご ⑥生活介護</p> <p>かね かいご ひつよう かた しせつ にゅうよく はい 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、 しょくじ かいご そうさくてきかつどう きかい ていきょう 食事の介護や創作的活動などの機会を提供す るサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>じりつくんれん きのうくんれん せいかつくんれん ⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練）</p> <p>じりつ にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ 自立した日常生活や社会生活ができるよう、 いっぺい きかん しんたいきのう せいかつのうりよく こうじょう 一定の期間、身体機能や生活能力の向上のため ひつよう くんれん おこな に必要な訓練を行うサービスです。</p>	1	2	1	2

<p>⑧ 就労移行支援 <small>しゅうろういこうしえん</small> 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、 <small>つうじょう じぎょうしょ はたら いたてい きかん</small> 就労に必要な知識及び能力向上のための <small>しゅうろう ひつよう ち しきおよ のうりよくこうじょう</small> 必要な訓練を行うサービスです。 <small>ひつよう くんれん おこな</small></p>	1	2	1	2
<p>⑨ 就労継続支援（A型、B型） <small>しゅうろうけいぞくしえん えーがた びーがた</small> 通常の仕事で働くことが困難な方に、就労 <small>つうじょう じぎょうしょ はたら こんなん かつた しゅうろう</small> の機会の提供や生産活動その他の活動の機会 <small>きかい ていきょう せいさんかつどう た かつどう きかい</small> の提供、知識や能力の向上のための訓練を <small>ていきょう ちしき のうりよく こうじょう くんれん</small> 行うサービスです。 <small>おこな</small></p>	1	2	1	2
<p>⑩ 療養介護 <small>りょうようかいご</small> 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方 <small>いりょう ひつよう かつた つねに かいご ひつよう かつた</small> に、主に昼間に病院等において機能訓練、 <small>おも ひるま ひょういんどう きのうくんれん</small> 療養上の管理、看護などを提供するサービス <small>りょうようじょう かんり かんご ていきょう</small> です</p>	1	2	1	2
<p>⑪ 短期入所（ショートステイ） <small>たんきにゅうしょ</small> 在宅の障がい者（児）を介護する方が病気の <small>ざいたく しょう しょう かいご かつた ひょうき</small> 場合などに、障がい者が施設に短期間入所し、 <small>ばあい しょう しょう しせつ たんきかんにゅうしょ</small> 入浴、排せつ、食事の介護等を受けるサービ <small>にゅうよく はい しょくじ かいご など う</small> スです。</p>	1	2	1	2
<p>⑫ 共同生活援助（グループホーム） <small>きょうどうせいかつえんじょ</small> 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や <small>や かん きゅうじつ きょうどうせいかつ おこな じゅうきょ そうだん</small> 日常生活上の援助を行うサービスです。 <small>にちじょうせいかつじょう えんじょ おこな</small></p>	1	2	1	2
<p>⑬ 施設入所支援 <small>しせつにゅうしょしえん</small> 主として夜間、施設に入所する障がい者（児） <small>しゅとして やかん しせつ にゅうしょ しょう しょう しょう じ</small> に、入浴、排せつ、食事の介護を行うサービ <small>にゅうよく はい しょくじ かいご おこな</small> スです。</p>	1	2	1	2
<p>⑭ 相談支援 <small>そうだんしえん</small> 福祉に関する問題について介護者からの相談 <small>ふくし かん もんだい かいごしゃ そうだん</small> にに応じて、必要な情報の提供や助言などを <small>おう ひつよう じょうほう ていきょう じょげん おこな</small> 行うサービスです。</p>	1	2	1	2

	げんざいりよう 現在利用 しているか		こんごりよう 今後利用 したいか	
	利用 している	利用 していない	利用 したい	利用 しない
<p>⑮ 児童発達支援</p> <p>日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑯ 放課後等デイサービス</p> <p>学校の授業終了後や休校日に、「児童発達支援センター」等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や社会との交流の促進などを行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑰ 保育所等訪問支援</p> <p>保育所等を訪問し、障がい児に対し、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑱ 医療型児童発達支援</p> <p>日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑲ 福祉型児童入所支援</p> <p>障害児入所施設に入所する障がい児に対し、保護・日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑳ 医療型児童入所支援</p> <p>障害児入所施設や指定医療機関に入所等をする障がい児に対し、保護・日常生活の指導や知識技能の付与や治療を行うサービスです。</p>	1	2	1	2

問30 あなたは普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族や親せき
- 2 友人・知人
- 3 近所の人
- 4 職場の上司や同僚
- 5 施設の指導員
- 6 ホームヘルパーなどサービス事業所の人
- 7 障がい者団体や家族会
- 8 かかりつけの医師や看護師
- 9 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
- 10 民生委員・児童委員
- 11 通園施設や保育所、幼稚園
- 12 相談支援事業所などの民間の相談窓口
- 13 行政機関の相談窓口
- 14 相談先がない
- 15 悩みなどを相談する習慣がない
- 16 その他 ()

問31 あなたは、障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
- 2 行政機関の広報誌
- 3 インターネット
- 4 家族や親せき、友人・知人
- 5 サービス事業所の人や施設職員
- 6 障がい者団体や家族会(団体の機関誌など)
- 7 かかりつけの医師や看護師
- 8 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
- 9 民生委員・児童委員
- 10 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生
- 11 相談支援事業所などの民間の相談窓口
- 12 行政機関の相談窓口
- 13 ほとんど情報を得られていない
- 14 情報を得る必要がない
- 15 その他 ()

問35 あなたは、「成年後見制度」についてご存知でしたか。(〇は1つだけ)

- 1 名前も内容も知っていた
- 2 名前を聞いたことがあるが、内容は知らなかった
- 3 内容も名前も知らなかった

※「成年後見制度」は、判断能力が不十分な成年者（認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者等）が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立てをし、その方を援助してくれる方（後見人）を付け、財産管理や福祉サービスの利用などを任せる制度です。

問36 あなたは、万一自分自身では判断ができなくなった場合、「成年後見制度」を利用し財産管理などを任せることについて、どう思いますか。(〇は1つだけ)

- 1 すでに利用している
- 2 任せてもよい
- 3 一部なら任せてもよい
- 4 任せたくない
- 5 わからない

災害時の避難等について

問37 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(〇は1つだけ)

- 1 できる → 問39へ
- 2 できない
- 3 わからない



問38 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(〇は1つだけ)

- 1 いる
- 2 いない
- 3 わからない

問39 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1 投薬や治療が受けられない
- 2 補装具の使用が困難になる
- 3 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる
- 4 救助を求めることができない
- 5 安全な所まで迅速に避難することができない
- 6 被害状況、避難場所などの情報が入手できない
- 7 周囲とコミュニケーションがとれない
- 8 避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安
- 9 特にない
- 10 その他()

秩父市障がい福祉に関するアンケート調査報告書

平成 29 年 10 月発行

発行元 秩父市役所 障がい者福祉課
住 所 〒368-8686 埼玉県秩父市熊木町8番 15 号
TEL (0494) 27-7331